

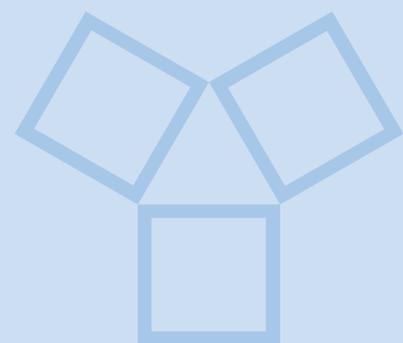
2013

平成 25 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2013 – March 2014



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2013

平成 25 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2013 – March 2014

序

平成25年度は、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が、横浜美術館の第2期指定管理者として指名された初年度にあたります。

横浜美術館は、発信力、教育プログラム、市民とつながるプログラム、営業力、経営基盤と人材の強化をかね、国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して、新たな一歩を踏み出しました。

魅力ある企画展やコレクション展の構築、市民のアトリエや子どものアトリエでの豊かな創作の機会提供に加え、本年度から新たに取り組んだのが、来館者サービスの充実、多様な教育プログラムの展開、海外美術館との連携です。

平成25年度の企画展は、春はシンガポール美術館との連携による東南アジアの現代美術、夏はプーシキン美術館コレクションからフランス絵画の300年、秋・冬は横浜にゆかりのある岡倉天心生誕150年・没後100年を記念し、横山大観、下村観山の個展を続けて開催しました。現代美術、近代の西洋美術、日本画と、多様な人々に向けて構成した企画展は、夏には特に多くの来館者を集め、みなとみらい地区の賑わい創出にも貢献できました。

コレクション展は、春・夏には、当館のコレクション充実にご尽力いただいた個人コレクターの方々に焦点を当て、秋・冬には、アーティスト同士の交遊に光を当てました。いずれも展示内容が企画展と緩やかに連なるようにテーマを設定し、企画展とコレクションの魅力の相乗効果を引き出すことを試みました。

さらに、各コレクション展では、視覚や聴覚に障がいのある方との鑑賞会や、おやこで楽しむワークショップなど、鑑賞プログラムの充実も図りました。また、当館のコレクションをご支援いただいている「横浜美術館コレクション・フレンズ」の皆さまにも、トークや交流会を通じて、当館コレクションへの理解を深めていただいています。

そして、創作支援活動では、子どものアトリエは新たに医療福祉施設へのアウトリーチを開始し、市民のアトリエは大学連携講座を実施するなど、館外の専門家と連携しながら、当館の活動を深め、地域に還元できるよう努めました。

カフェでの特別メニューや展覧会に合わせた設え、グランドギャラリーでの総合インフォメーション機能をもつ円形カウンター設置やコンサートの実施、子ども用キャプション制作、音声ガイド、学校に配布するガイドの制作、企業との連携などそれぞれの展覧会の特徴を活かし、教育ならびに広報・企業連携にも工夫を凝らし、多角的に美術館を楽しんでいただけるよう取り組んでいます。

横浜美術館は、多様な活動を通して美術の振興に更に努め、地域の文化拠点の役割を果たし、国際交流を推進する美術館として邁進してまいります。

横浜美術館館長 逢坂恵理子

目次

基本方針・沿革	7
展覧会事業	
概要	9
企画展1 Welcome to the Jungle 熱々!東南アジアの現代美術	10
企画展2 プーシキン美術館展 フランス絵画300年	12
企画展3 横山大観展一良き師、良き友	14
企画展4 生誕140年記念 下村観山展	16
横浜美術館コレクション展 第1期	18
横浜美術館コレクション展 第2期	20
横浜美術館コレクション展 第3期	22
横浜美術館若手作家支援事業 百瀬文展	24
調査研究	26
美術情報センターの活動	27
教育普及事業	
概要	29
鑑賞サポート	30
子どものアトリエ	34
市民のアトリエ	37
広報出版物	40
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	41
地域社会や市民生活に貢献する事業	42
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	43
保存・修復	44
貸出	45
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	48
外部と連携した事業	50
来館者へのおもてなし	52
資料	
入館者数・収支	54
役員等・組織図	55
職員名簿	56
条例・施行規則	57
施設概要・利用案内	62

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。
「Welcome to the Jungle 熱々!東南アジアの現代美術」… ジャングル展
「プーシキン美術館展 フランス絵画300年」… プーシキン美術館展
「横山大観展一良き師、良き友」… 横山大観展
「生誕140年記念 下村観山展」… 下村観山展
「横浜美術館コレクション展」… コレクション展
「横浜美術館若手作家支援事業 百瀬文展」… 百瀬文展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担います。今後10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指します。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。

展覧会事業

概要

横浜美術館の展覧会事業では、概ね、年4回の企画展、年3回のコレクション展、年1回の若手作家支援の展覧会を展開しています。

各展覧会とも以下のような方針を持っていますが、コレクションをベースにする企画展や、企画展と連動したテーマのコレクション展など、相互に繋がりをもたせ、横浜美術館ならではの展覧会を発信しています。

企画展

[展覧会の方針]

横浜美術館は下記の基本方針により企画展を立案・実施しています。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

(平成25年度4展合計入場者数: 484,981人)

コレクション展

[展覧会の方針]

コレクション展では、年間を3期に分けて所蔵品を紹介しています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示しています。写真展示室では、4,000点を超す写真のコレクションからテーマを設定し、世界の写真芸術を紹介しています。

(平成25年度3展合計入場者数: 491,839人)

若手作家支援

3年ごとに横浜美術館を会場の一つとして開催される横浜トリエンナーレを視野にいれて、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストを独自の視点で選出し紹介しています。

(平成25年度入場者数: 927人)

企画展1 Welcome to the Jungle 熱々! 東南アジアの現代美術

本展は1999年から2011年にかけての東南アジア8か国〔シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、カンボジア、ミャンマー〕、25組の作家による現代美術作品を紹介するもので、シンガポール美術館キュレーターと共同で企画しました。多数の民族や宗教による豊かな文化、さらに現代社会が抱えるさまざまな課題をテーマに取り組み作家たちの作品を通じて、東南アジアの歴史と現在の姿を浮き彫りにするとともに、関連事業として出品作家を招へいたフォーラムやキュレーター・トーク、鑑賞ワークショップ等を開催しました。首都圏では近年紹介される機会が少なかった東南アジアの現代美術を扱った本展は、新聞や美術専門誌等において広く紹介され、幅広い世代の人々にご覧いただくことができました。また、当館としては初めて海外の美術館との共同企画に取り組み、国際的な美術館同士のネットワーク形成と、実践的な協働活動を通じた双方の情報交換、美術館運営のノウハウの交換に寄与することができました。

主催: 横浜美術館
共催: シンガポール美術館
後援: シンガポール政府観光局、横浜市
助成: 芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団
協力: 日本航空、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ 首都高速道路株式会社
会期: 平成25年4月13日(土)-6月16日(日)
開催日数: 56日
観覧料: 一般1,100円、大学・高校生700円、中学生400円
 小学生以下無料

入場者数: 16,910人

出品件数: 28件

出品作家名:

- アラフマヤーニ
- ナウイン・ラワンチャイクン
- イー・イラン
- ザイ・クーニン
- ニエ・レイ
- ナディア・バマダジ
- アラヤー・ラートチャムルーンスック
- ティタルピ
- チャン・ユンチア
- ロベルト・フェレオ
- アフマド・ファド・オスマン
- チャン・ルーン
- リー・ウェン
- ポクロン・アナティン
- プアン・タイミン
- ステイーヴ・ティロナ
- ムハマッド・ユスフ
- ホン・セクチェン
- シャノン・リー・キャッスルマン
- フランク・カリヤガン
- フランシス・ン
- PHUNK
- チャールズ・リム
- ジュン・グエン=ハツシバ
- ヴァンティ・ラッタナ

巡回先: 熊本市現代美術館 平成25年10月5日(土)-11月24日(日)

カタログ: 192頁

発行: モ・クシユラ株式会社

執筆: カイルティン・ホリ「ジャングルへようこそ」

木村絵理子「1998→2013/インドネシア、日本、そして東南アジア」

天野太郎「重なり合う東南アジアと日本 水を介するアイデンティティ」

管啓次郎「プラナカンの島へ／から」

芦田彩葵(年譜)

編集: 大谷薫子



ポスター



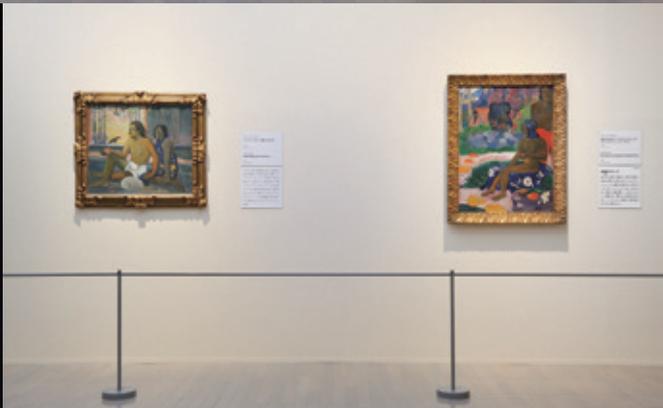
チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン
 青木康子(バンゲア)

photo: 今井智巳(p.10 ❖除く)



企画展2 プーシキン美術館展 フランス絵画300年

モスクワの国立A.S.プーシキン記念美術館のコレクションの中核をなすフランス絵画のなかから、17世紀の古典主義、18世紀のロココ、19世紀の新古典主義、ロマン主義、自然主義、印象主義、ポスト印象主義、20世紀のキュビズム、フォーヴィスム、エコール・ド・パリまで、日本初公開47作品を含む計66点を紹介。「印象主義の肖像画の最高峰」と称されるルノワール《ジャンヌ・サマリーの肖像》を展覧会のハイライトに置いて、3世紀にわたるフランス絵画の歴史を辿りました。

会期中には、漫画家の池田理代子氏とフランス文学者の鹿島茂氏による講演会をはじめ、さまざまな関連事業を開催。また、フランス絵画史を彩る名品を間近に観る貴重な機会として、市内の小中学校に鑑賞シートを配布して来場を呼びかけるなど、幅広い層に向けて広報を展開しました。さらに、本展開幕直前に美術館の向かいにオープンした「マークイズみなとみらい」をはじめ、近隣施設・企業との連携にも力を注ぎました。

主催: 横浜美術館、朝日新聞社、テレビ朝日、BS朝日、プーシキン美術館、ロシア連邦文化省
後援: 外務省、ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁 (Rossotrudnichestvo)、横浜市、神奈川新聞社
協賛: 三井物産、トヨタ自動車、日本製紙、大日本印刷
協力: 日本航空、アクティオ、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
会期: 平成25年7月6日(土)-9月16日(月・祝)
開催日数: 65日
観覧料: 一般1,500円、大学・高校生1,200円、中学生600円、小学生以下無料

入場者数: 337,240人

出品点数: 66点

出品作家名:

- | | |
|----------------------|-------------------|
| アングル、ジャン＝オーギュスト＝ドミニク | ドガ、エドガー |
| ヴァン・ドンゲン、キース | ドニ、モーリス |
| ヴァン・ロー、カルル | ドラクロワ、ウジェーヌ |
| ヴァンサン、フランソワ＝アンドレ | ドラロッシュ、ポール |
| ヴェーエ、シモン | ピカソ、バブロ |
| ヴェルネ、クロード＝ジョゼフ | ファン・ゴッホ、フィンセント |
| ヴェルネ、オラース | プーシェ、フランソワ |
| ヴォイク、ジャン＝ルイ | プールドン、セバステアン |
| ヴェイヤール、エドゥアール | フوران、ジャン＝ルイ |
| クスリング、モイーズ | ブッサン、ニコラ |
| クチュール、トマ | フロマンタン、ウジェーヌ |
| グリム、アレクシ | ペリニオン、アレクシ＝ジョゼフ |
| グルーズ、ジャン＝バティスト | ボワイー、ルイ＝レオポール |
| グラン、シャルル | マティス、アンリ |
| ゴーギャン、ポール | マネ、エドゥアール |
| コロー、ジャン＝バティスト＝カミーユ | ミトワール、ブノワ＝シャルル |
| サンテール、ジャン＝バティスト | ミレー、ジャン＝フランソワ |
| ジュラル、マルグリット | モネ、クロード |
| ジェローム、ジャン＝レオン | ランクレ、ニコラ |
| シモン、リュシアン | ル・ブラン、シャルル |
| シャガール、マルク | ルーセル、ケル＝グザヴィエ |
| シャルパンティエ、ジャン＝バティスト | ルソー、アンリ |
| スウェバック、ジャック＝フランソワ | ルノワール、ピエール＝オーギュスト |
| セザンヌ、ポール | ルバスク、アンリ |
| ダヴィッド、ジャック＝ルイ | ルモワース、フランソワ |
| ド・トロワ、ジャン＝フランソワ | レジェ、フェルナン |
| ド・ラ・フォッス、シャルル | ローランサン、マリー |
| ド・ラ・ペーニャ、ナルシス・ティアズ | ロバール、ユベール |
| トゥールーズ＝ロートレック、アンリ・ド | ロラン、クロード |
| ドゥカン、アレクサンドル＝ガブリエル | ロワール、ルイジ |

巡回先: 愛知県美術館 平成25年4月26日(金)-6月23日(日)
 神戸市立博物館 平成25年9月28日(土)-12月8日(日)

カタログ: 200頁

発行: 朝日新聞社

執筆: アンナ・ステイモア、アレクセイ・ペトゥホフ「プーシキン美術館のフランス絵画—コレクションとコレクター—」

松永真太郎「聖と俗の図像 西洋絵画にみる肖像—『プーシキン美術館展』出品作を中心に—」

岡 泰正「野生と文明の間で—ゴーギャンをめぐる物語」

森 美樹「アンリ・マティス 静物画・室内画に描かれた布の模様について」

坂本恭子「プーシキン美術館の〈収蔵品〉—美術館とコレクターたちの歴史」

副田一穂「プーシキン美術館展 関連用語解説/主な画家、コレクターの生没年」

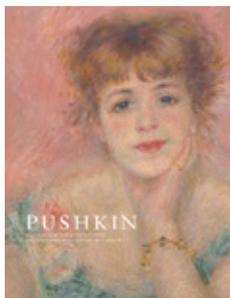
編集: 横浜美術館、愛知県美術館、神戸市立博物館、朝日新聞社企画事業本部文化事業部



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン
大溝 裕 (Glanz)

カタログデザイン・制作
垣本正哉 (D_CODE)

photo: 田中雄一郎 (p.12 ❖除く)



企画展3 岡倉天心生誕150年・没後100年記念／『國華』創刊125周年／朝日新聞創刊135周年
横山大観展―良き師、良き友

天心・岡倉覚三（1863-1913）の生誕150年、没後100年に、天心の薫陶を受けた第一世代の中心人物、横山大観（1868-1958）を採りあげ、特に、画業を飛躍的に展開させた大正期に焦点を当て、以下の3章で構成しました。

第1章「良き師との出会い：大観と天心」では、東京美術学校第一期生として「良き師」天心に出会った大観が天心の理想に共鳴し、新たな絵画創出に邁進したことを、大観遺愛の天心の書などを交えて展覧しました。

第2章「良き友、紫紅、未醒（放菴）、芋銭、溪仙：大正期のさらなる挑戦」では、大観が、中国古典の新たな解釈や東洋趣味の水墨表現、大胆な色彩や構図、形態のデフォルメなどから、モダンでユーモラスな印象を与え、のびやかな明るさをもつ作品を生み出した背景に四人の画家、即ち、今村紫紅（1880-1916）、小杉未醒（放菴）（1881-1964）、小川芋銭（1868-1938）、富田溪仙（1879-1936）との交流があったことに着目し、1) 水墨と色彩、2) 構図の革新とデフォルメ、3) 主題の新たな探求の3セクションで、大観と「良き友」らとの造形的関係を探りました。

第3章「円熟期に至る」は、大正期の集大成と言える《夜桜》を始め、盟友らとの交流の深さを示す大観遺愛の作品を併せて展示しました。

主催：横浜美術館、朝日新聞社、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
後援：横浜市、NHK横浜放送局
協賛：大仲社、あいおいニッセイ同和損害保険
協力：公益財団法人 横山大観記念館、國華社、みなとみらい線 横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
会期：平成25年10月5日(土)-11月24日(日)
前期：10月5日(土)-10月30日(水)
後期：11月1日(金)-11月24日(日)

開催日数：44日

観覧料：一般1,400円、大学・高校生1,100円、中学生500円
小学生以下無料

入場者数：91,081人

出品件数：162件

出品作家名：

横山大観
今村紫紅
岡倉天心
小川芋銭
小杉未醒(放菴)
五世 清水六兵衛
下村観山
富田溪仙
平櫛田中
山口 晃

カタログ：297頁(和文)、19頁(英文)

発行：朝日新聞社、横浜美術館

執筆：横山 隆「祖父・大観の良き師・良き友」

八柳サエ「横山大観一天心の教え、盟友らとの交わりと共に」

太田雅子「横山大観の虎溪三笑図について」

佐藤志乃(作品解説)

池田博子(作品解説)

特別寄稿：山口 晃「大観と天心、そして仲間たちを描く」

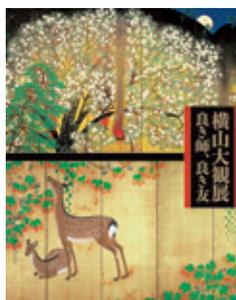
編集：朝日新聞社、横浜美術館



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン
栗原幸治(クリ・ラボ)

カタログデザイン
梯 耕治

photo: 田中雄一郎(p.14 ◆除く)



企画展4 岡倉天心生誕150年・没後100年記念
生誕140年記念 下村観山展

横浜ゆかりの日本画家・下村観山（1873-1930）の生誕140年を記念し、代表作や新出資料を含む156件の作品と関連資料により、画業の全容を回顧する個展を開催しました。観山は、少年期に学んだ狩野派の厳格な様式に基礎を置きながら、やまと絵の流麗な線描と色彩を研究し、さらにイギリス留学による西洋画研究の成果を加味し、気品ある穏やかな画風を確立して近代日本画の創造に寄与しました。その筆技の豊かさと主題や構図の特質を、第1章「狩野派の修行」、第2章「東京美術学校から初期日本美術院」、第3章「ヨーロッパ留学と文展」、第4章「再興日本美術院」の章構成により、概ね年代順に紹介しました。平成23年度に当館に一括寄贈された観山の画稿・素描類のうち、少年期の狩野派の粉本模写を中心に12点を修復して初公開し、のちの多彩な画技の原点となった早熟な才能を伝えることを、展示構成の起点としました。

主催: 横浜美術館、朝日新聞社、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
後援: 横浜市、NHK横浜放送局
協力: みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ
首都高速道路株式会社
会期: 平成25年12月7日(土)-平成26年2月11日(火・祝)
前期: 12月7日(土)-1月8日(水)
後期: 1月10日(金)-2月11日(火・祝)

開催日数: 53日

観覧料: 一般1,200円、大学・高校生800円、中学生400円
小学生以下無料

入場者数: 39,750人

出品件数: 156件

出品作家名:
下村観山

ゲーンズボロ、トマス
前田青柳
横山大観

カタログ: 208頁

発行: 横浜美術館

執筆: 内山淳子「下村観山の画業—新出作品資料によせて—」
柏木智雄「下村観山の晩年—画業再検討のための覚書—」
八柳サエ(作品解説)
金井真悠子(作品解説)

特別寄稿: 馬場あき子「下村観山展に寄せて」

編集: 横浜美術館



ポスター



チラシ

広報印刷物・カタログ表紙デザイン
浅葉 弾, 渡部孝彦(ダンデザイン)

photo: 田中雄一郎(p.16 ❖除く)



カタログ



横浜美術館コレクション展 第1期 「賛美小舎」—上田コレクション 特集展示：荒木経惟

多くの篤志家からの貴重な作品寄贈は、コレクション充実に大きく貢献しています。平成23年、「賛美小舎」こと上田國昭・克子夫妻から150件171点が寄贈され、1980年代以降の現代美術家の作品群に大きな厚みをもたらされました。

上田氏は、岡倉天心の思想やマコト・フジムラが示す日本文化の根底には美を賛える心があるという考えに共鳴し、自邸を「賛美小舎」と名付け、若手美術家の可能性を支援しようと美術品を収集しました。上田夫妻は、20年以上続けた収集活動により45作家と1組、360件以上の規模となった収集品を、市民一人一人が美術文化を支える〈美術民主主義〉の実現を掲げて一切売却せず、公立美術館に寄贈しました。当館は上田氏より現在までに175点を受贈しています。今期それらを網羅的に、第1、2、3展示室を使って初めてまとめて紹介しました。会期中は、上田氏の支援を受けたアーティストを招き、展示作品を前に、上田氏のパトロナージュの姿勢や自作の創作について語ってもらうアーティスト・トークを開催しました。

また写真展示室では、平成20年に当館で撮影された《横浜美人100人》を中心に、現代日本を代表する写真家として国際的な評価を得ている、アラキーこと荒木経惟の作品を特集展示しました。

「賛美小舎」—上田コレクション

【特集展示】 荒木経惟

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成25年4月13日(土)-6月16日(日)

開催日数：56日

入場者数：19,366人

出品件数：178件

出品作家名：

荒木経惟
石原友明
太田三郎
岡村桂三郎
尾形月耕
小滝雅道
尾長良範
小沼直晴
小野友三
オルデンバーグ、クレス
鎌木清方
川崎麻児
河嶋淳司
北辻良央
クロチェッティ、ヴェナンツォ
齋藤典彦
阪田耕雪
ザツキン、オシツブ
鈴木 強
須田悦弘
曾根 裕
武内桂舟
武田州左
ダリ、サルバドール
デ・キリコ、ジョルジオ
富岡永洗
ナイクサタム、プラブハカール
中川幸夫
中山ダイスケ
ノグチ、イサム
袴田京太郎
日高理恵子
福井江太郎
藤田 淳
マグリット、ルネ
マコト・フジムラ
間島領一 + 福田美蘭
間島領一 + 森村泰昌
松井智恵
マッソン、アンドレ
松本春崇
宮脇愛子
ミロ、ジョアン
向山喜章
柳 幸典
山口秀樹
山本直彰
湯浅龍平
湯川雅紀
湯原和夫
尹熙倉
吉永 裕
若江漢宇



横浜美術館コレクション展 第2期 「収集のよろこび—美術館にみる個人コレクション」 特集展示：アンディ・ウォーホル

特徴的な7つの旧・個人コレクションに着目。個性豊かなそれぞれのコレクター像を探り、また、各コレクションを通して、人々を魅了する美術の力を探ることをテーマとしました。

大光相互銀行(現・大光銀行)の創始者・駒形十吉氏が旧蔵した、国内外の近・現代美術作品から成る「大光コレクション」は、1980年代を通して全国の美術館に分散して収集されることとなりました。当館では、20世紀のヨーロッパ絵画を中心に10点の旧・大光コレクションの作品を収集しました。本展では、当館の西洋美術コレクションの礎となったポール・テルヴォー《階段》、ルネ・マグリット《青春の泉》をはじめとする旧・大光コレクションの作品とともに、当館が所蔵するシュルレアリスムの作品を展示しました。

また、横浜の実業家である坂田武雄氏の西洋美術コレクションや、松浦信太郎氏の日本画コレクションの主要作品をまとめて展覧し、彼らの系統立ったコレクションの特質を伝えることを試みました。同じく実業家の山口久像氏は、親しい画家や工芸家を支援する目的で彼らから直接作品を収集しました。本展では、大らかで朗らかな人柄で知られた山口氏の個性が滲み出る作品群を紹介しました。

このほか、明治期の横浜の貿易商で、陶工・宮川香山と交流のあった綿野吉二氏の香山の陶磁器コレクション、さらに、版画刷り師・木村希八氏の手元にアーティストとの協働作業の成果として残された、プリンターズブルーフなどの版画コレクションを紹介しました。

さらに、大佛次郎記念館との連携により、小説家・大佛次郎の没後40年を記念して、同館が所蔵する大佛旧蔵のフランス人画家ポール・ルヌアールの版画作品を展示しました。

写真展示室では、平成25年度の横浜美術館コレクション・フレンズ対象作品のひとつである、アンディ・ウォーホルの《キャンベル・スープⅡ》を中心に、ポップアートの作品を特集しました。あわせて、ヨコハマトリエンナーレ2011に出品され、平成24年度に当館に新たに収蔵されたピーター・コフィン映像作品《無題》を展示しました。

「収集のよろこび—美術館にみる個人コレクション」

旧・大光コレクション
木村希八コレクション
大佛次郎コレクション
坂田武雄コレクション
山口久像コレクション
松浦信太郎コレクション
綿野吉二コレクション

【特集展示】 アンディ・ウォーホル

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成25年7月6日(土)~9月16日(月・祝)

開催日数：65日

入場者数：339,160人

出品件数：203件

出品作家名：

アームストロング、ジョン	寺崎広業
新井勝利	テルヴォー、ポール
荒井寛方	トゥールーズ=ロートレック、アンリ・ド
荒木寛敏	トルベツコイ、ポール
イースト、アルフレッド	ナイクサタム、プラブハカル
井上良斎(三代)	中島清之
ウォーホル、アンディ	西村五雲
ヴォルス	ノグチ、イサム
グラマンク、モーリス・ド	ハミルトン、リチャード
エルンスト、マックス	ピガール、ジャン=パティスト
エンネル、ジャン=ジャック	ピサロ、カミーユ
太田晴雨	広島晃甫
小作青史	ファン・ホイエン、ヤン
大佛次郎	フォートリエ、ジャン
小野州一	フリエス、エミル・オットン
オルデンバーグ、クレス	マイヨール、アリスティド
梶田半古	マグリット、ルネ
片岡球子	マッソン、アンドレ
カリエール、ウジェーヌ	マッタ、ロベルト
カンティンスキー、ヴァシリイ	宮川香山(初代)
菊池契月	宮川香山(二代)
北野恒富	宮川香山(三代【推定】)
木原康行	宮川香山(工房)
クールベ、ギュスターヴ	ミロ、ジョアン
グロッス、ジョージ	メイブルソープ、ロバート
クローゼン、ジョージ	守住貫魚
クロチェッティ、ヴェナンツォ	モロー、ギュスターヴ
小島一谿	安田靉彦
木島桜谷	山口長男
コフィン、ピーター	湯原和夫
コンスタブル、ジョン	ヨンキント、ヨーハン・バルトルト
サザランド、グレアム	ラウシェンバーグ、ロバート
サージェント、ジョン・シンガー	ラファエリ、ジャン=フランソワ
ザツキン、オシップ	リクテンスタイン、ロイ
篠田桃紅	ルドン、オディロン
清水多嘉示	ルヌアール、ポール
シモン、リュシアン	レービン、イリヤ・エフィモヴィチ
ジャック、シャルル=エミール	レピーヌ、スタニスラス
ジョーンズ、ジャスパー	ロート、アンドレ
ダリ、サルバドール	ロダン、オーギュスト
タンギー、イヴ	
デ・キリコ、ジョルジオ	



横浜美術館コレクション展 第3期 「ともだちアーティスト—収蔵作品でつづる芸術家の交友関係」
 特集展示：ロレンツォ・メルロ写真コレクションより

コレクション展第3期は「ともだちアーティスト」をテーマに、芸術家同士の交流や影響関係、友情に焦点を当てました。

芸術家は、自身の創作に向き合うばかりではありません。それぞれ取り組む課題に共感し合った者たちがグループをつくったり、故郷を遠く離れた土地で出会い深い友情で結ばれたり、流派を超えて他者と交流し、影響を与え合ってきました。今回の展示では、そのような芸術家たちの交友が読み取れる具体的なエピソードを軸に、横浜美術館の収蔵作品を作家の交友関係という視点からセレクトし、6つのセクションを構成しました。各セクションでは、場所と時代を共有した作家たちのエピソードをパネルで紹介し、作家同士のつながりを表現するように作品の展示方法を工夫しました。

写真展示室では、コレクション展の通年のテーマである「コレクター」の第3回目として、イタリアの写真家・写真研究家ロレンツォ・メルロ氏旧蔵の写真コレクションの中から、20世紀写真史を彩る70点を特集展示しました。

ともだちアーティスト

- ①横浜での出会い—写真家と画家
- ②藤田嗣治とパリの作家たち
- ③ヨーロッパとアメリカ、ダダとシュルレアリスムの作家たちを中心に
- ④戦後日本とアメリカ、具体とネオダダ
- ⑤美人画の作家たちと赤曜会
- ⑥「毛の生えた心臓のタペ」シスター

【特集展示】ロレンツォ・メルロ写真コレクションより
 イサム・ノグチと20世紀の彫刻

会 期：平成25年10月5日(土)–平成26年2月16日(日)
 ただし11月25日(月)–12月6日(金)は展示休室

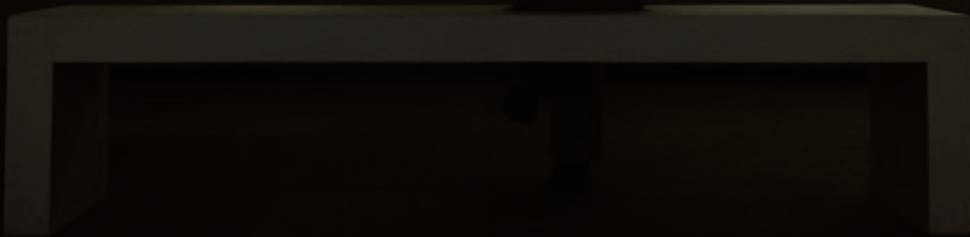
開催日数：101日

入場者数：133,313人

出品件数：291件

出品作家名：

- | | |
|------------------|-------------------------|
| アボット、ベレニス | 寺島紫明 |
| 荒川修作 | デン・ホランデル、パウル |
| アルプ、ハンス(ジャン) | 伝・五姓田芳柳 |
| 伊東深水 | 伝・ハイネ、ペーター・B・W |
| 今村紫紅 | 富取風堂 |
| 上村松園 | 土門 拳 |
| 牛田雞村 | トレス、アーサー |
| エドワーズ、マーク | ドワノー、ロベール |
| エリュアール、ポール | ナムス、ハンス |
| エルンスト、マックス | ニュートン、ヘルムート |
| 岡 鹿之助 | ニューマン、アーノルド |
| オッペンハイム、メレット | ノグチ、イサム |
| 小茂田青樹 | パー、マーティン |
| オルデンバーグ、クレス | ハウスマン、ラウル |
| カーシュ、ユースフ | 速水御舟 |
| 鍋木清方 | ピカソ、パブロ |
| カルティエ=ブレッソン、アンリ | ピゴ、ジョルジュ=フェルディナン |
| ギッリ、ルイジ | ファルサーリ、アドルフ(編) |
| 木村伊兵衛 | プーバ、エドゥアール |
| グスタフソン、ケネス | フォルデンベルゲ=ギルデヴァルト、フリードリヒ |
| 国吉康雄 | フォン・シュティルフリート、ライム |
| クライン、ウィリアム | ント |
| クレイ、パウル | フォンクベルタ、ジョアン |
| グロツ、ジョージ | フォンタナ、フランコ |
| クロチェッティ、ヴェナンツォ | 藤田嗣治 |
| ケルテス、アンドレ | ブラウン・ジュニア、エリファレット |
| 五姓田義松 | ブラッサイ |
| ゴンサレス、ジュリオ | ブランクーシ、コンスタンティン |
| 佐伯祐三 | ベアト、アントニオ |
| ザツキン、オシツプ | ベアト、フェリーチェ |
| 里見勝蔵 | ベルメール、ハンス |
| 篠原有司男 | マグリット、ルネ |
| シーフ、ジャンルー | マッソン、アンドレ |
| シーモア、デヴィッド | マン・レイ |
| シーラー、チャールズ/ストランド | ミロ、ジョアン |
| ド、ポール | ムーン、サラ |
| ジャコメッリ、マリオ | 元永定正 |
| シュヴァイツァース、クルト | モホリ=ナジ、ラースロー |
| ジョーンズ、ジャスパー | 湯原和夫 |
| 白髪一雄 | 吉村益信 |
| シンクレア、T(刻) | ラウシェンバーグ、ロバート |
| スタイクン、エドワード | ラム、ヴィフレド |
| 高橋由一 | リヒター、ハンス |
| 田中敦子 | ローランサン、マリー |
| ダリ、サルバドール | ワーグマン、チャールズ |
| タンギー、イヴ | 渡辺文三郎 |
| テ・キリコ、ジョルジオ | 渡辺幽香 |
| ディックス、オットー | |



横浜美術館若手作家支援事業 百瀬 文展 サンプルボイス

横浜美術館若手作家支援事業としてフォトヨコハマ2014開催期間にあわせ、デジタル映像をメディアとして用いるアーティスト、百瀬文の個展を開催しました。

百瀬は1988年東京生まれ。2013年に武蔵野美術大学大学院造形研究科を修了し、東京を拠点に制作発表を行っています。彼女は声と身体の関係に着目し、現代社会における他者との関係に重ねあわせながら様々な設定のインスタレーション、パフォーマンスを発表しています。

本展では、声優へのインタビューをもとに構成した新作ビデオ・インスタレーション《The Recording》とレクチャーホールで撮影した《オーティション[テルミン奏者]》、そして近作《定点観測[父の場合]》の3点をアートギャラリー1で展示・紹介しました。また、イベントとして観客参加型パフォーマンス《定点観測》を開催し、その記録をもとに百瀬が構成したインスタレーションをCafé小倉山で展示しました。会期中、過去に制作、発表した《Calling and cooking》および《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》の2作品を上映し、さらにゲストを迎え、手話通訳付きのポストトークを開催しました。

主催：横浜美術館

後援：横浜市

協力：キヤノン株式会社

機材協力：ARTISTS' GUILD

会期：平成26年3月8日(土)-3月30日(日)

開催日数：20日

観覧料：無料

入場者数：927人

出品点数：3点

出品作家名：百瀬 文



チラシ



パンフレット

広報印刷物デザイン
浅葉 弾、渡部孝彦、石原千明
(ダンデザイン)

photo: 椎木静寧 (❖)
田中雄一郎 (❖❖)

調査研究

紀要

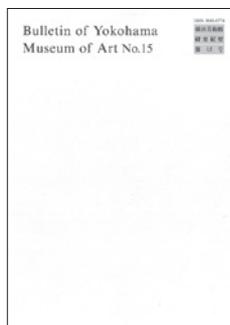
68頁

発行日：平成26年3月25日

発行部数：500部

掲載論文：

- ①「今日の作家展」の記録 1996年～2006年
執筆者：大塚真弓(横浜市民ギャラリー学芸員)
- ②鑑賞プログラム「夏休み子どもフェスタ」、その始まりと展開について(記録と考察)
執筆者：山崎 優(横浜美術館主席ワークショップコーディネーター)
- ③マックス・エルンスト作《子供のミネルヴァ》をめぐって
執筆者：中村尚明(横浜美術館主任学芸員)



収蔵品目録

2004(平成16年度)

170頁

発行日：平成25年12月20日

発行部数：500部



2012(平成24年度)

32頁

発行日：平成26年3月25日

発行部数：500部



美術情報センターの活動



検索デスク



新着展覧会カタログ



資料コーナー(ケース内展示)



資料コーナー



開架書庫と資料展示風景



閲覧室風景

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存、公開し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。

開室時間：10:00～18:00(入室および各種利用受付17:30まで)

* 年末年始及び特別整理期間は休室

収集・整理・保存

収集実績

		小計	合計
和書	購入	4冊	661冊
	寄贈	657冊	
洋書	購入	10冊	65冊
	寄贈	55冊	
			2,156冊
和カタログ	購入	0冊	1,279冊
	寄贈	1,279冊	
洋カタログ	購入	0冊	151冊
	寄贈	151冊	
蔵書総数			104,067冊

逐次刊行物 2,311冊

データベース入力件数

4,329件

特別整理期間

期間：6月17日(月)-6月26日(水)

冊数：開架資料19,801冊の点検

補修525冊

装備の修正748冊

サービス

利用状況

開室日数	301日
利用者数	17,129人
レファレンス	1,772件
閉架資料利用	2,643冊
コピー利用	890件
ビデオ利用	96件

市民を対象とした探検ツアー (バックヤードツアー)

開催日時：1月26日(日), 2月22日(土)

3月22日(土)

参加人数：8人, 3人, 6人

イメージフォーラム・フェスティバル 2013

日時：7月13日(土)-7月15日(月祝)

概要：映像表現の最先端を紹介する国内最大級の映像アートの祭典。当館所蔵の映像7作品を含む計40作品を上映。

会場：レクチャーホール

参加人数：82人, 80人, 83人

資料コーナー

展覧会に関連した資料公開

(各展覧会会期中)

ジャングル展	16冊
プーシキン美術館展	15冊
横山大観展	23冊
下村観山展	22冊
コレクション展第1期	18冊
第2期	15冊
第3期	13冊

司書の企画した特集テーマによる資料公開

西アジア	4月1日-6月16日	10冊
日本美術院	9月29日-10月4日	27冊
国華	11月27日-12月6日	13冊
歌川広重	2月17日-2月28日	10冊

ケース内資料展示

司書の企画したテーマによる貴重書を中心とした資料の展示

工夫を凝らした美術展カタログ	4月1日-3月31日	8冊
----------------	------------	----

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、開館以来実績を積み上げてきた造形プログラムと、鑑賞プログラムを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発など、地域や社会と連携した新しい取組みも積極的に行っています。

造形プログラムは、「子どものアトリエ」と「市民のアトリエ」で展開しています。

子どものアトリエは、「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、5歳から12歳までの幼児・児童を対象としたプログラムを実施しています。「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみる」ことを基本に、遊びを通じたさまざまな造形体験を提案します。平日には、幼稚園や小学校が造形および鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」、日曜日や夏休みなどには、個人を対象にした「親子のフリーゾーン」「造形講座」を開催しています。

市民のアトリエでは、12歳以上を対象に年間を通じ、多彩な実技講座を企画・開催しています。市民と作家、市民と市民が「つくる」ことを通して美術に出会う場を提供します。講座は「平面室」「立体室」「版画室」の各室で行われます。平面室は、絵画制作を中心に、さまざまな表現による作品制作を行うスペースです。立体室には、陶芸・彫塑をはじめ、各種の立体制作を行う設備が揃っています。版画室では、銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン・木版画の各版種を本格的に制作することができます。

鑑賞プログラムは、コレクション展・企画展の内容にあわせて、ギャラリートークや創作体験を活かした鑑賞ワークショップなどを企画・実施し、来館者の作品鑑賞をサポートしています。また、子ども・障がい者・高齢者・外国人など、「様々な人に開かれた美術館」を目指した取組みや、横浜美術館のコレクションをわかりやすく伝えるための鑑賞サポートツールを開発しています。

企画展

◎ジャングル展

上映&トークI

上映作品:

ヴァンディ・ラッタナ《爆弾でできた池》2009年, シンガポール美術館蔵

日時: 4月14日(日) 14:00~16:00

講師: カイルティン・ホリ(本展共同企画者/シンガポール美術館シニア・キュレーター)

会場: レクチャーホール

参加人数: 50人

上映&トークII

上映作品:

ミン・ウォン《ハム&チーズオムレット》2001年
ホー・ツーニエン《ボヘミアン・ラブソティ・プロジェクト》2006年

アピチャッポン・ウィーラセタクン《マイ・マザーズ・ガーデン》2007年

ドン・サルバイバ《Bitbit》2011年

日時: 5月11日(土) 14:00~16:00

講師: 宮津大輔(現代アート・コレクター)

聞き手: 木村絵理子

会場: アートギャラリー1

参加人数: 52人

ギャラリートーク

日時: (各金曜) 4月26日, 5月10・24日, 6月14日 14:00~14:30

担当: 木村絵理子, 大澤紗蓉子

会場: 展示室

参加人数: 15人, 22人, 16人, 21人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 4月27日(土), 5月22日(水)
19:00~20:45

担当: 木村絵理子

会場: 展示室

参加費: 3,000円

参加人数: 30人, 27人

おやこで楽しむジャングル展!

日時: 5月5日(日祝)・6日(月祝)
10:30~11:45

担当: 坂本恭子, 庄司尚子

会場: 展示室

参加人数: 12人(子6人・親6人, 計3家族)

16人(子9人・親7人, 計6家族)

社団法人大学婦人協会(CWAJ)と視覚に障がいのある人との鑑賞会

日時: 6月1日(土)

担当: 岡崎智美, 坂本恭子, 大澤紗蓉子

鑑賞パートナー(ボランティア) 12人

会場: 展示室

参加人数: 54人(鑑賞パートナー12人)

子ども向け鑑賞シート「ジャングル・マップ」

配布期間: 4月13日(土)~6月16日(日)

発行部数: 5,000部

おやこの鑑賞優待

日時: 5月11日(土)・12日(日)・18日(土)・
19日(日)・25日(土)・26日(日)

参加人数: 子ども85人, 大人144人

緊急フォーラム

「シンガポール、インドネシア 00(ゼロ)年代のアーティストたち」

日時: 6月16日(日) 14:00~16:00

パネリスト: ムハマッド・ユスフ(本展出品作家/ジョグジャカルタ在住)

チャールズ・リム(本展出品作家/シンガポール在住)

木村絵理子

司会: 天野太郎

会場: 円形フォーラム

参加人数: 103人

◎プーシキン美術館展

記念講演会

●日時: 7月20日(土) 14:00~15:30

講師: 池田理代子(漫画家/声楽家)

聞き手: 松永真太郎

タイトル: 時代を描く、人を描く—西洋絵画と漫画

会場: レクチャーホール

参加人数: 171人

●日時: 8月3日(土) 14:00~15:30

講師: 鹿島 茂(明治大学教授/フランス文学者)

タイトル: 18世紀のフランス女優と風俗

会場: レクチャーホール

参加人数: 181人

ギャラリートーク

日時: (各金曜) 8月2・9・30日
18:00~18:30

担当: 松永真太郎, 大澤紗蓉子, 沼田英子

会場: 展示室

参加人数: 90人, 80人, 80人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 7月17日(水), 8月10日(土)
19:00~20:45

担当: 松永真太郎

会場: 展示室

参加費: 4,000円

参加人数: 29人, 33人

鑑賞ワークショップ

「くらべて楽しむプーシキン美術館展!」

日時: 9月6日(金) 18:30~20:30

担当: 坂本恭子

会場: 展示室, アートギャラリー1

参加人数: 17人

子ども向け鑑賞シート

「くらべて楽しむプーシキン美術館展!」

6月17日(月) 横浜市立小学校345校、中学校149校に配布

発行部数: 120,000部

*鑑賞シート持参で鑑賞優待

一般1,163人, 大学・高校生38人

中学生1,033人

音声ガイド

提供期間: 7月6日(土)~9月16日(月祝)

利用台数: 95,857台

◎横山大観展

講演会

●日時: 10月5日(土) 14:00~15:30

講師: 横山 隆(横山大観記念館館長)

タイトル: 良き祖父・大観の芸術と日常

会場: レクチャーホール

参加人数: 105人

●日時: 10月19日(土) 14:00~15:30

講師: 山口 晃(画家)

タイトル: 美術感想文「横山大観展を見て」

会場: レクチャーホール

参加人数: 131人

ギャラリートーク

日時: (各金曜) 10月25日, 11月8日
14:00~14:30

担当: 八柳サエ, 太田雅子

会場: 展示室

参加人数: 40人, 40人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 10月25日(金), 11月9日(土)
19:00~20:45

担当: 八柳サエ

会場: 展示室

参加費: 3,500円

参加人数: 31人, 31人

創作&鑑賞ワークショップ

「日本画を体感する—横山大観の世界」

*市民のアトリエ「展覧会関連ワークショップ」

参照(p.38)



ジャングル展 上演&トークI



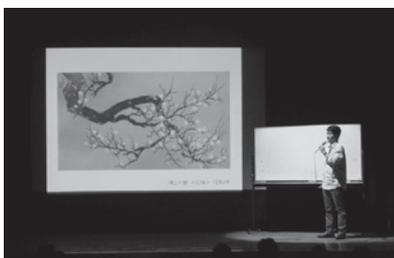
おやこで楽しむジャングル展!



ブーキン美術館展 鑑賞ワークショップ



子ども向け鑑賞シート



横山大観展 講演会 山口晃氏



下村観山展 夜の美術館でアートクルーズ

横山大観展×横浜音祭り2013 タイアップイベント

横浜美術館“音祭り”コンサート 2013

* 専門館連携参照(p.50)

子ども向け鑑賞シート「大観の魅力进行分析!」

配布期間: 10月5日(土)-11月24日(日)

発行部数: 7,000部

おやこの鑑賞優待

日時: 11月3日(日祝)

参加人数: 一般71人

音声ガイド

提供期間: 10月5日(土)-11月24日(日)

利用者数: 14,766台

◎下村観山展

講演会

日時: 1月11日(土) 14:00~15:30

講師: 木下長宏(美術史家)

タイトル: 下村観山の見どころ

会場: レクチャーホール

参加人数: 210人

ギャラリートーク

日時: (各金曜) 12月20日, 1月31日

15:00~15:30

担当: 内山淳子, 金井真悠子

会場: 展示室

参加人数: 50人, 100人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 12月18日(水), 1月25日(土)

19:00~20:45

担当: 内山淳子

会場: 展示室

参加費: 3,000円

参加人数: 22人, 35人

展覧会・ココがみどころ

日時: 2月8日(土)・9日(日)

11:00~11:15, 14:00~14:15

担当: 鑑賞パートナー(ボランティア)

会場: グランドギャラリー

参加人数: 22人, 10人, 35人, 65人

創作&鑑賞ワークショップ

「日本画を体感する一下村観山の世界」

* 市民のアトリエ「展覧会関連ワークショップ」

参照(p.38)

わくわく@1日鑑賞講座

「下村観山の《小倉山》をみよう」

* 子どものアトリエ「わくわく@1日鑑賞講座」

参照(p.36)

子ども向け鑑賞シート「下村観山ってどんな画家?」

配布期間: 12月7日(土)-2月11日(火祝)

発行部数: 12,500部

* 「平成25年度文化庁地域と共働した美術館・

歴史博物館創造活動支援事業」のひとつと

して制作

おやこの鑑賞優待

日時: 1月11日(土)・12日(日)・13日(月祝)

参加人数: 一般45人

クラシック・ヨコハマ2013連携 ミュージアムコンサート

* 都市戦略との連携参照(p.50)

シルバー・アートフェスタ

* コレクション展参照(p.32)

コレクション展

◎第1期

アーティストトーク

日時：5月18日(土), 6月1日(土)
14:00~14:40

講師：小野友三(画家), 川崎麻児(画家)
会場：展示室
参加人数：33人, 28人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 4月19日, 5月3・31日, 6月7日
14:00~14:30

担当：坂本恭子, 岡崎智美
会場：展示室
参加人数：3人, 23人, 4人, 18人

視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会

後援：横浜市文化観光局
日時：5月17日(金) 14:00~16:00
担当：岡崎智美
会場：展示室, アートギャラリー2
参加人数：8人(鑑賞パートナー2人)

おやかで楽しむコレクション展!

日時：5月26日(日) 14:00~15:15
担当：坂本恭子, 岡崎智美
会場：展示室
参加人数：3人(子2人・親1人, 計1家族)

◎第2期

ゲストトーク

日時：7月29日(月) 14:00~14:30
講師：木村希八(版画刷り師)
会場：展示室
参加人数：45人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 7月19日, 8月2・16・30日
14:00~14:30
担当：坂本恭子, 岡崎智美
会場：展示室
参加人数：48人, 28人, 35人, 36人

視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会

後援：横浜市文化観光局
日時：9月6日(金) 14:00~16:00
担当：岡崎智美
会場：展示室, 円形フォーラム
参加人数：35人(鑑賞パートナー5人)

◎第3期

レクチャー付フィルム上映会

「アヴァンギャルドシネマのタベ」
上映作品：
ルイ・リュミエール「シネマトグラフ・リュミエール」初期作品集 1895年
ヴィキング・エッゲリング《対角線交響楽》1923-25年
ハンス・リヒター《午前の幽霊》1928年
マルセル・デュシャン《アネミック・シネマ》1926年
ルイス・ブニュエル《アンダルシアの犬》1928年
オスカー・フィッティング《ムラッティの行進!》1934年
日時：2月15日(土) 18:00~19:30
会場：レクチャーホール
参加人数：15人

ギャラリートーク

日時：(各金曜) 10月18日, 11月15日, 12月20日,
1月31日, 2月7日 14:00~14:30
担当：坂本恭子, 岡崎智美
会場：展示室
参加人数：23人, 31人, 15人, 30人, 35人

おやかで楽しむコレクション展!

日時：10月13日(日) 14:00~15:15
12月21日(土) 13:45~15:00
担当：坂本恭子, 端山聡子, 岡崎智美
会場：展示室
参加人数：19人(子9人・親10人, 計8家族)
14人(子8人・親6人, 計5家族)

聴覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会

後援：横浜市文化観光局
日時：11月1日(金) 14:00~16:00
担当：岡崎智美
会場：展示室, アートギャラリー2
参加人数：13人(鑑賞パートナー8人)

みんなで楽しむ横浜美術館コレクション

日時：11月17日(日) 10:30~13:30
担当：岡崎智美, 坂本恭子
会場：展示室
参加人数：83人(鑑賞パートナー17人)

視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会

後援：横浜市文化観光局
日時：1月17日(金) 14:00~16:00
担当：岡崎智美, 端山聡子
会場：展示室, アートギャラリー2
参加人数：21人(鑑賞パートナー6人)

神奈川県ライトセンター利用者向け鑑賞会

「横浜美術館に行ってみませんか?」
日時：2月1日(土) 13:30~15:30
担当：岡崎智美, 端山聡子
会場：展示室, アートギャラリー2
参加人数：15人(鑑賞パートナー9人)

わくわく日曜鑑賞講座

横浜美術館鑑賞クラブ「美術ってなんじゃもんじゃ?」
*子どものアトリエ「わくわく日曜鑑賞講座」
参照(p.36)

◎シルバー・アートフェスタ

ゆったり楽しむ横浜美術館コレクション展ツアー

日時：11月3日(日祝) 10:00~11:30
担当：岡崎智美, 坂本恭子
会場：展示室, アートギャラリー2
参加人数：7人

アート屋台でわいわい! 日本画の技法・材料・道具を体験しよう!

日時：12月23日(月祝) 10:00~15:30
担当：教育普及グループ
会場：グランドギャラリー
参加人数：266人
*65歳以上は、下村観山展、コレクション展 観覧無料

◎鑑賞サポートツール

*「平成25年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の一環として制作

コレクション展鑑賞シート

対象作品：7作品9シート
一般向け：5作品5シート
子ども向け：4作品4シート
配布期間：12月7日(土)-2月16日(日)
発行部数：合計22,000部

鑑賞補助ツール「触れて理解する画材」

日本画材、洋画材
下村観山「小倉山」部分模写

音声ガイド「音でめぐる横浜美術館」

(平成26年4月以降公開予定)

触察地図「横浜美術館 手で見るフロアマップ」

発行部数：250部

中学生のためのヨコトリ2014をもっと楽しむ! 鑑賞ポケットガイド

発行部数：85,000部



アーティストトーク



おやこで楽しむコレクション展!



視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会



シルバー・アートフェスタ



百瀬文展 プレイベント



夏休み子どもフェスタ2013

若手作家支援事業

◎百瀬文展 サンプルボイス

イベント: 観客参加型パフォーマンス
「定点観測」

日時: 2月16日(日) 13:30~/15:30~

担当: 庄司尚子

会場: グランドギャラリー

参加人数: 26人

上映会+ポストトーク

日時: 3月21日(金祝) 15:00~16:30

上映作品:

《Calling and cooking》2012年

《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》2013年

講師: 倉石信乃 (詩人/批評家/明治大学大学院理工学研究科教授)

会場: レクチャーホール

参加人数: 70人

子ども対象鑑賞サポート

◎夏休み子どもフェスタ2013

日時: 8月6日(火)-14日(水)

10:30~15:30 *8日(木)は休館

担当: 教育普及グループ

会場: 展示室

参加人数: 1,468人

*下記アートクラブ・ツアーの参加人数を含む。

夏休み子どもフェスタ アートクラブ・ツアー

日時: 8月6日(火)-14日(水) *8日(木)は休館

担当: 教育普及グループ, アートティーチャーズ・サポーター

会場: 展示室

受入学校数: 6校

参加生徒数: 45人

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(90校) [幼稚園・保育園35園/小学校36校/特別支援・各種学校19校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 山崎 優, 高德早矢香, 佐藤直子, 東 麻奈美

4月19日(金)	YMCA マナ保育園	31人	10月21日(月)	駒林小学校	86人
4月23日(火)	深谷小学校	95人	10月22日(火)	YMCA いずみ保育園	28人
4月24日(水)	御霊神社保育園	26人	10月23日(水)	幸ヶ谷小学校	77人
4月26日(金)	長津田第二小学校	103人	10月25日(金)	東俣野特別支援学校	30人
5月8日(水)	アソカ幼稚園	39人	10月29日(火)	羽沢小学校	88人
5月10日(金)	平戸台小学校	46人	10月30日(水)	バレット保育園(綱島他3園)	48人
5月14日(火)	ボブラ保育園	23人	11月1日(金)	そよかせ保育園	20人
5月15日(水)	神奈川小学校	105人	11月5日(火)	あざみ野第二小学校	97人
5月17日(金)	港南区個別支援学級合同	97人	11月6日(水)	にじいろ保育園戸塚	19人
5月21日(火)	上の原保育園	33人	11月8日(金)	笹野台小学校	94人
5月22日(水)	瀬谷さくら小学校	94人	11月11日(月)	瀬戸ヶ谷小学校	103人
5月24日(金)	上菅田特別支援学校(小学部)	58人	11月12日(火)	横浜愛隣幼稚園	31人
5月28日(火)	下永谷小学校	138人	11月13日(水)	下和泉小学校	89人
5月29日(水)	二本榎幼稚園	48人	11月15日(金)	鶴見区個別支援学級合同	127人
5月31日(金)	港南台ひの特別支援学校	50人	11月19日(火)	久良岐保育園	35人
6月4日(火)	本牧南小学校	50人	11月20日(水)	鴨居小学校	92人
6月5日(水)	なかまちっこ園	34人	11月26日(火)	神大寺小学校	131人
6月7日(金)	戸塚区個別支援学級合同	118人	11月27日(水)	港南はるかぜ保育園	54人
6月11日(火)	東京横浜独逸学園	51人	11月29日(金)	港北区個別支援学級合同	130人
6月12日(水)	青葉幼稚園	72人	12月3日(火)	オハナ新羽保育園	36人
6月14日(金)	東台小学校	124人	12月4日(水)	杉田小学校	105人
6月18日(火)	横浜市かながわ保育園	28人	12月6日(金)	神奈川区個別支援学級合同	114人
6月19日(水)	相武山小学校	110人	12月10日(火)	大綱小学校	82人
6月24日(月)	川島小学校	148人	12月11日(水)	こども園いのやま	89人
6月25日(火)	瀬谷中央保育園	45人	12月13日(金)	大豆戸小学校	111人
6月26日(水)	川和小学校	67人	12月16日(月)	磯子区個別支援学級合同	98人
6月28日(金)	神橋小学校	93人	1月15日(水)	つづきの丘小学校	70人
7月2日(火)	中村小学校	83人	1月17日(金)	明德二俣川保育園	23人
7月3日(水)	わおわお保育園	74人	1月20日(月)	上菅田小学校	146人
7月5日(金)	盲特別支援学校	51人	1月21日(火)	県立南養護学校(肢体不自由児施設)	18人
7月9日(火)	野毛山幼稚園	61人	1月22日(水)	平戸小学校	107人
7月10日(水)	中沢小学校	138人	1月24日(金)	星の子保育園	66人
7月12日(金)	港南つくしんぼ保育園	25人	1月27日(月)	南幼稚園	69人
9月10日(火)	山元小学校	63人	1月28日(火)	県立鶴見養護学校	32人
9月11日(水)	ベネッセチャイルドケアセンター日吉	43人	1月29日(水)	汐見台愛育園	20人
9月13日(金)	磯子区個別支援学級合同	117人	1月31日(金)	瀬谷区個別支援学級合同	120人
9月17日(火)	希望ヶ丘幼稚園	53人	2月4日(火)	つつじヶ丘小学校	95人
9月18日(水)	ろう特別支援学校幼稚部	74人	2月5日(水)	YMCA山手台保育園アルク	23人
9月20日(金)	上寺尾小学校	90人	2月7日(金)	聖坂養護学校	38人
9月24日(火)	あづまの幼稚園	103人	2月18日(火)	関東学院六浦こども園	78人
9月25日(水)	中区個別支援学級合同	141人	2月19日(水)	東小学校	86人
9月27日(金)	浜小学校	112人	2月21日(金)	中村特別支援学校(中学部)	26人
10月9日(水)	美し野幼稚園	105人	2月25日(火)	ポピンズナーサリースクールセンター南	20人
10月15日(火)	立正幼稚園	65人	2月26日(水)	日野小学校	46人
10月18日(金)	関東学院のびのびのば園	48人	2月28日(金)	六ッ川台小学校	38人



学校プログラム 二本榎幼稚園



学校プログラム 東京横浜独逸学園



親子のフリーゾーン



個人の造形講座 えのくで遊ぼう



夏休み造形講座 ダンスクラブ



長期日曜造形講座 油絵クラブ

学校のためのプログラム

鑑賞プログラム(4校)

時間：10:00～14:00

会場：子どものアトリエ、展示室

担当：山崎 優, 佐藤直子, 東 麻奈美, 端山聡子, 岡崎智美

3月3日(月)	青木小学校5学年	104人
3月4日(火)	西寺尾小学校4学年	56人
3月5日(水)	日吉台小学校6学年	111人
3月10日(月)	新吉田小学校3学年	122人

親子のフリーゾーン

日時：原則日曜 10:00～11:30

会場：子どものアトリエ

参加費：小学生以下の子ども無料, 中学生以上100円

4月14日(日)	648人(有料318人)	9月29日(日)	644人(有料300人)
4月21日(日)	555人(有料277人)	10月13日(日)	657人(有料324人)
4月28日(日)	704人(有料345人)	10月20日(日)	377人(有料235人)
5月12日(日)	479人(有料236人)	10月27日(日)	366人(有料186人)
5月19日(日)	632人(有料302人)	11月10日(日)	500人(有料259人)
5月26日(日)	576人(有料281人)	11月17日(日)	484人(有料229人)
6月2日(日)	496人(有料252人)	11月24日(日)	511人(有料251人)
6月9日(日)*	519人(有料254人)	12月1日(日)	337人(有料155人)
6月16日(日)	408人(有料211人)	12月8日(日)*	414人(有料189人)
6月30日(日)	697人(有料335人)	12月15日(日)	268人(有料127人)
7月7日(日)	617人(有料314人)	1月12日(日)	426人(有料214人)
7月14日(日)	602人(有料315人)	1月19日(日)	396人(有料200人)
8月2日(金)	672人(有料279人)	1月26日(日)	362人(有料185人)
8月3日(土)	327人(有料151人)	2月9日(日)*	50人 (有料26人)
8月4日(日)	497人(有料247人)	2月16日(日)	233人(有料119人)
8月23日(金)	601人(有料258人)	2月23日(日)	311人(有料153人)
8月24日(土)	357人(有料180人)	3月2日(日)	257人(有料138人)
8月25日(日)	474人(有料239人)	3月9日(日)	421人(有料204人)
9月15日(日)	454人(有料222人)	3月16日(日)	502人(有料245人)
9月22日(日)	660人(有料324人)		

*企業向け芸術支援プログラムHeart to Artによる開催(p.50参照)

横浜信用金庫にて期間限定で作品を展示

個人の造形・鑑賞講座

会場：子どものアトリエ

担当：山崎 優, 高德早矢香, 佐藤直子, 東 麻奈美, 坂本恭子(鑑賞講座のみ)

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 えのぐで遊ぼう

日時：4月14・21・28日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：22人

5月 ペーパーアート

日時：5月12・19・26日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：22人

6月 花器をつくろう

日時：6月2・9・16日[3回]

14:00~16:00

参加費：4,000円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

7月 うつして遊ぼう

日時：6月30日, 7月7・14日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：22人

9月 写真クラブ

日時：9月15・22・29日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校3・4・5・6年生

参加人数：22人

10月 紙工作に挑戦

日時：10月13・20・27日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：24人

11月 すてきなクリスマス飾りをつくろう

日時：11月10・17・24日[3回]

14:00~16:00

参加費：4,000円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：23人

12月 紙粘土で見て、つくろう

日時：12月1・8・15日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

2月 版画に挑戦

日時：2月9・16・23日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

3月 カラフル毛糸で織物をつくろう

日時：3月2・9・16日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：19人

◎夏休み造形講座

ダンスクラブ

日時：7月29日(月)・30日(火)・31日(水)[3回]

10:00~12:00

参加費：3,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：23人

モザイクアート

日時：8月2日(金)・3日(土)・4日(日)[3回]

14:00~16:00

参加費：4,000円(材料費含む)

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：24人

ジグソーパズルをつくろう

日時：8月9日(金)・10日(土)・11日(日)[3回]

10:00~12:00

参加費：4,000円(材料費含む)

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：21人

◎わくわく1日造形講座

えのぐでくちやくちやく

日時：4月29日(月祝) 10:00~12:00

参加費：1,500円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：36人

フレームアート

日時：7月15日(月祝) 10:00~12:00

参加費：2,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：26人

親子講座 土粘土であそぼう

日時：10月14日(月祝) 10:00~12:00

参加費：親子2人で1,500円

(1人追加で+500円)

対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数：54人

小さな銅版画でカードを作ろう

日時：11月23日(土祝)

10:00~12:00

参加費：2,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：24人

デコ車でゴー!

日時：2月11日(火祝) 10:00~12:00

参加費：2,000円(材料費含む)

対象：幼稚園・保育園の年長児に相当する幼児

参加人数：25人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時：5月12・19・26日, 6月2・9・16日[6回]

14:00~16:00

参加費：9,000円(材料費含む)

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：19人

日本画クラブ

日時：10月13・20・27日, 11月10・17・24日

[6回] 14:00~16:00

参加費：9,000円(材料費含む)

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：21人

【鑑賞プログラム】

◎わくわく日曜鑑賞講座

横浜美術館鑑賞クラブ「美術ってなんじゃもんじゃ?」

日時：1月12・19・26日[3回]

14:00~16:00

参加費：3,500円(材料費含む)

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：9人

◎わくわく1日鑑賞講座

下村観山の《小倉山》をみよう

日時：1月13日(月祝) 10:00~12:00

参加費：親子2人で1,000円

(1人追加で+500円)

対象：小学校1年から6年生と保護者

参加人数：17組44人

市民のアトリエ



小さなブロンズ作品づくり



陶芸の楽しさ「暮らしの器」



今日から始める「絵画の時間」A



木彫「彫刻の楽しさを知る」



デッサン考察A



中学生講座「野菜の形や色の魅力」

ワークショップ

◎アートとふれあう

小さなブロンズ作品づくり

日時：[2回] 各14:00~16:30

Aコース 4月29日(月祝), 5月6日(月祝)

Bコース 6月4・11日(火)

Cコース 7月28日, 8月4日(日)

Dコース 9月21・28日(土)

Eコース 10月18・25日(金)

Fコース 12月10・17日(火)

Gコース 1月14・21日(火)

Hコース 3月1・8日(土)

講師：小林且典(彫刻家), 木下貴博

会場：市民のアトリエ

参加費：各4,500円

参加人数：A10人, B10人, C10人, D10人

E10人, F10人, G10人, H10人

27日, 8月10・17・31日[10回]

13:30~16:30

講師：柳川貴司(彫刻家)

協力：環境活動支援センター

会場：市民のアトリエ

参加費：38,000円

参加人数：10人

デッサン考察A

日時：6月11日-7月30日(火) [8回]

14:00~16:30

講師：象鯨スタッフ

会場：市民のアトリエ

参加費：23,000円

参加人数：15人

中学生講座「野菜の形や色の魅力」

日時：8月25日(日) 11:00~14:30

講師：木下貴博

横田佳子(横浜市民ギャラリースタッフ)

会場：市民のアトリエ

参加費：1,000円

参加人数：10人

版画基礎コース

日時：(各土曜) [6回] 各10:10~12:40

Aコース 5月11日-6月15日

Bコース 6月22日-7月27日

Cコース 8月17日-9月21日

Dコース 9月28日-11月2日

Eコース 11月9日-12月21日*12月7日休み

Fコース 1月11日-2月23日*2月8日休み

Gコース 2月22日-3月29日

インストラクター：

伊藤あずさ(銅版画)

サトウタカコ(シルクスクリン)

大坂秩加(リトグラフ)

会場：市民のアトリエ

参加費：各16,000円

参加人数：A17人, B17人, C17人, D17人

E17人, F17人, G17人

陶芸の楽しさ「暮らしの器」

日時：[4回] 各14:00~16:00

(最終日は、14:00~15:00)

Aコース 5月12・26日, 6月23日, 7月7日(日)

Bコース 9月7・14日, 10月5・19日(土)

Cコース 2月9日(日)・15日, 3月15・22日(土)

講師：茂田真史(陶芸家)

会場：市民のアトリエ

参加費：各12,000円

参加人数：A10人, B9人, C10人

今日から始める「絵画の時間」A

日時：5月24日-6月28日(金) [6回]

13:30~15:30

講師：皆川琴美(画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：16,500円

参加人数：16人

木彫「彫刻の楽しさを知る」

日時：(各土曜) 6月1・8・22・29日, 7月6・20・

油絵にトライ!

日時：10月25日-11月29日(金) [6回]

13:30~15:30

講師：皆川琴美(画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：18,000円

参加人数：15人

木口木版画～小さな世界で遊ぶ～

日時：10月25日-12月13日(金) [8回]

14:00~16:00

講師：早川純子(絵本作家/版画家)

会場：市民のアトリエ

参加費：24,000円

参加人数：15人

現代具象木彫＝彫刻家の視点・制作の話

日時：12月8日・22日(日) [2回]

14:00~16:00

講師：第1回 吉田 直(彫刻家)

第2回 大島康幸(彫刻家/横浜美術館収蔵作家)

会場：市民のアトリエ

参加費：3,000円

参加人数：13人, 12人

初めての絵画教室

日時：2月15日-3月22日(土) [6回]

14:00~16:00

講師：柳川文秀

会場：市民のアトリエ

参加費：13,000円

参加人数：15人

市民のアトリエ

◎横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座

横浜美術館所蔵作家のレクチャーと作品鑑賞 「ゴブラン織り=大いなる自然からの創造」

日時：4月27日(土) 14:00~15:30
(15:40~16:00実技講座参加者説明)
講師：プラブハカール・ナイクサタム(織物デザイナー／横浜美術館収蔵作家)
会場：市民のアトリエ, 展示室
参加費：1,000円
参加人数：21人(ミニタペストリー参加者含む)

ミニタペストリーづくり「初めての足踏み織り機/floor loomでタペストリーを織りましょう」

日時：(各土曜) [7回・4日間]
4月27日 14:00~15:30 ナイクサタム レクチャー、作品鑑賞
(15:40~16:00 高瀬ゆり 実技参加者説明)
5月11日 10:00~12:30, 13:30~16:00
5月18日 10:00~12:30, 13:30~16:00
5月25日 10:00~12:30, 13:30~16:00
講師：高瀬ゆり
会場：市民のアトリエ, 横浜美術大学
参加費：17,000円
参加人数：11人

「ネオライムストーンで彫刻制作を楽しむ」

日時：(各日曜) [12回・8日間]
10月6・13日 13:30~16:00
10月20日 10:00~12:30, 13:30~16:00
11月3日 13:30~16:00
11月10日 10:00~12:30, 13:30~16:00
11月17日 13:30~16:00
11月24日 10:00~12:30, 13:30~16:00
12月1日 10:00~12:30, 13:30~16:00
講師：関 孝行(彫刻家／横浜美術大学講師)
坂本恭子
会場：市民のアトリエ, コレクション展展示室
横浜美術大学(10月6日鑑賞)
参加費：30,000円
参加人数：11人

◎ヨコハマアートストーリー

高田保雄・画家という生き方一戦前から今横浜をみつめて一

日時：6月2日(日) 14:00~15:30
講師：高田保雄(画家)
出演：山崎正雄(高田保雄門下生)
永井龍之介(永井画廊代表)
会場：レクチャーホール
参加費：1,000円
参加人数：146人

◎平成25年度《横浜みどりアップ計画》 横浜みどりアップ・ワークショップ

山田哲平 環境サウンドアート—自然の音に形を与える—

日時：春の音 5月19日(日) 午後半日
梅雨の音 6月16日(日) 午後半日
冬の音 11月4日(月祝) 午後半日
講師：山田哲平(彫刻家)
会場：春の音 舞岡公園(戸塚区)
梅雨の音 新治市民の森(緑区)
冬の音 臨港パーク・みなとみらい(西区)
参加費：各500円
参加人数：春の音11人, 梅雨の音10人, 冬の音9人

視覚に障がいのある人とない人がともに楽しむ秋の音

日時：10月14日(月祝) 午後半日
講師：山田哲平(彫刻家)
会場：環境活動支援センター・公園(保土ヶ谷区)
参加費：500円(視覚に障がいのある方の付き添い1人無料)
参加人数：13人

*横浜みどりアップ・ワークショップ展 山田哲平「環境サウンドアート—自然の音に形を与える—」

日時：2月1日(土)-2月11日(火祝)
会場：アートギャラリー1
観覧料：無料
入場者数：692人

◎展覧会関連ワークショップ

日本画を体感する—横山大観展・下村観山展 関連企画—

●「横山大観の世界」

日時：10月27日(日) 10:30~15:30
講師：藤井聡子(日本画家)
会場：市民のアトリエ, 展示室
参加費：3,800円(横山大観展観覧券付)
参加人数：16人

●「下村観山の世界」

日時：12月15日(日) 10:30~15:30
講師：藤井聡子(日本画家)
会場：市民のアトリエ, 展示室
参加費：3,800円(下村観山展観覧券付)
参加人数：16人



ゴブラン織り



ミニタペストリーづくり



横浜みどりアップ・ワークショップ



日本画を体感する 横山大観の世界



テラコッタ



オープンスタジオ版画室

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

会場：市民のアトリエ立体室

参加費：各コース9,000円(10:30～13:30は別参加費1回500円)

木の作品

日時：[6回]各13:30～16:00

Aコース 5月8・15・22・29日,6月5・12日(水)

Bコース 6月26日,7月3・10・17・24・31日(水)

Cコース 9月4・11・18・25日,10月2・9日(水)

Dコース 10月22・29日,11月5・12・19・26日(火)

Eコース 11月27日,12月4・11・18・25日,1月8日(水)

Fコース 1月15・22・29日,2月5・12・19日(水)

Gコース 2月18・25日,3月4・11・18・25日(火)

参加人数：A12人,B13人,C16人,D8人
E14人,F16人,G13人

テラコッタ

日時：[6回]各13:30～16:00

Aコース 5月13・20・27日,6月3・10日,7月8日(月)

Bコース 8月12・19・26日,9月2・9日,10月7日(月)

Cコース 10月21・28日,11月11・18・25日,12月16日(月)

Dコース 12月14・21日,1月11・18・25日,2月22日(土)

Eコース 2月3・10・17・24日,3月3・24日(月)

参加人数：A12人,B12人,C16人,D14人
E12人

◎オープンスタジオ平面室

会場：市民のアトリエ平面室

人体クロッキー(ヌード)

日時：(各水曜)[10回]

A,C,Eコース 10:30～13:00

B,D,Fコース 14:30～17:00

Aコース 5月15日-7月17日

Bコース 5月15日-7月17日

Cコース 9月18日-11月27日

*10月16日休み

Dコース 9月18日-11月27日

*10月16日休み

Eコース 1月22日-3月26日

Fコース 1月22日-3月26日

参加費：各コース14,000円

参加人数：A20人,B20人,C20人,D20人
E20人,F20人

人体を描く

日時：[4回]各14:00～16:30

Aコース(ヌード)7月19日-8月9日(金)

Bコース(着衣)9月20-27日,10月11-18日(金)

Cコース(ヌード)11月12日-12月3日(火)

Dコース(ヌード)2月14日-3月7日(金)

参加費：各コース6,000円

参加人数：A18人,B18人,C18人,D18人

◎オープンスタジオ版画室

会場：市民のアトリエ版画室

日時：

第1期 5月11日-7月27日(火・水・土)
(火・水)10:10～16:30
(土)14:00～16:30

第2期 8月17日-10月30日(水・土)
(水)10:10～16:30
(土)14:00～16:30

第3期 11月2日-12月21日(水・土)
*12月7日休み

(水)10:10～16:30
(土)14:00～16:30

第4期 1月11日-3月29日(火・水・土)

*2月8日休み、2月23日に振替

*2月11日休み

(水)10:10～16:30

(火・土)14:00～16:30

(暗室使用はすべて14:00～16:30)

インストラクター：

伊藤あずさ(銅版画)

サトウタカコ(シルクスクリーン)

大坂秩加(リトグラフ)

参加費：10:10～16:30利用 2,200円
14:00～16:30利用 1,600円

参加人数：第1期522人,第2期317人

第3期240人,第4期511人

広報出版物

チラシ

子どものアトリエでは、1年に1回「ピコラガイド」を、市民のアトリエでは1年に2回「ワークショップガイド」を、鑑賞プログラムでは年度はじめのガイドの他、対象や時期に合わせてチラシを発行し、プログラムを周知しています。



ブログ

子アート通信

平成22年8月より、毎月約2回、子どものアトリエ職員が最新のニュースや日々の活動をお知らせしています。

<http://www.yaf.or.jp/yama/atelier/>

市アート通信

平成23年9月より、毎月約1回、市民のアトリエ職員が最新のニュースや日々の活動をお知らせしています。

<http://www.yaf.or.jp/yama/shiato/>



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働



親子のフリーゾーンボランティア



コレクション・フレンズ 交流会



コレクション・フレンズ ギャラリートーク



子どもフェスタにおける教師ボランティア受入



アウトリーチ事業 病院



Heart to Art《よこしん》親子でエコ教室

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広げます。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。

ボランティア

子どものアトリエ「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：4月7日(日)-3月30日(日)
登録人数：35人

美術情報センターボランティア

活動期間：8月2日(金)-3月31日(月)
登録人数：7人

美術情報センター1日ボランティア

活動期間：10月22日(火)、11月2日(土)・23日(土祝)
登録人数：3人

鑑賞パートナー

鑑賞プログラムを支え、さまざまな来館者と鑑賞の喜びを分かちあうボランティアを育成します。
活動期間：4月20日(土)-3月31日(月)
登録人数：26人
*1月18日(土)バリアフリー研修の他、年間を通して研修を実施。

夏休み子どもフェスタ限定鑑賞ボランティア

活動期間：7月20日(土)-8月14日(水)
登録人数：3人

フラットなコミュニケーション

- ・学芸員OB、観光業OBなどとの連携によるおもてなしの心育成のため、特にヨコハマトリエンナーレ2014を見据え、準備を進めています。
- ・横浜シティガイド協会などとの連携による横浜観光促進のため、特にヨコハマトリエンナーレ2014を見据え、準備を進めています。
- ・原三溪生誕150年に向けた原三溪市民研究会との共同研究を概ね月1回開催しました。

コレクション・フレンズ

10,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための、ユニークな取り組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費：一口10,000円 参加人数：137名(146口)

平成25年度の対象作品7点

- [写真] 荒木経惟《横浜美人100人》
- [日本画] 上村松園《楚蓮香之図》
- [彫刻] 平櫛田中《岡倉天心胸像》
- [日本洋画] 藤田嗣治《腕を上げた裸婦》
- [版画] アンディ・ウォーホル
《キャンベル・スープⅡ》
- [西洋画] イヴ・タンギー
《風のアルファベット》
- [工芸] 初代宮川香山《青華鳳凰形花器》

交流会(年2回開催)

日時：9月7日(土)、3月16日(日)
講師：中村尚明、松永真太郎
会場：円形フォーラム、8階レセプションルーム
参加人数：61人、50人

ギャラリートーク(年4回、8日程開催)

日時：①6月5日(水)・8日(土)
②7月13日(土)・17日(水)
③10月30日(水)、11月2日(土)
④1月15日(水)・18日(土)
講師：コレクション展担当学芸員
会場：コレクション展展示室等
参加人数：16人、10人、21人、21人、15人、15人、17人、12人

地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。

学校教育連携事業

アートティーチャーズ・デー

横浜市内の小中高の図工・美術の先生に、当館展覧会担当学芸員が解説を行います。

日時：5月11日(土)、7月13日(土)、
10月12日(土)、12月14日(土)
10:00～12:00

担当：教育普及グループ、学芸グループ

会場：子どものアトリエ、展示室
参加人数：19人、46人、28人、28人

子どもフェスタにおけるアートティーチャーズ・サポーター(教師ボランティア)の受入

活動期間：7月20日(土)～8月14日(水)

担当：教育普及グループ
会場：子どものアトリエ
コレクション展示室
登録人数：10人

横浜市芸術文化教育プラットフォーム受入

学校への芸術家派遣事業に当館職員がコーディネーターとして協力します。

日時：①12月10日(火)・11日(水)
②12月19日(木)・20日(金)
担当：市民のアトリエ
教育プロジェクトチーム
会場：①小田中学校
②汐見台中学校
参加人数：140人、138人

横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座

*市民のアトリエワークショップ
参照(p.38)

城西国際大学と連携した展覧会ウェブサイト構築

ジャングル展
コレクション展第1期
コレクション展第2期
コレクション展第3期
下村観山展
百瀬文展

アウトリーチ事業等*

アウトリーチ

日時：5月30日(木)、8月29日(木)
2月27日(木)

担当：山崎 優、佐藤直子
高徳早矢香、東 麻奈美
宮野律子、大岩久美

会場：和泉学園いづみ幼稚園、神奈川県立こども医療センター、白樺学園しらかば幼稚園

参加人数：82人、41人、95人

*企業向け芸術支援プログラム Heart to Artによる開催

Heart to Art《よこしん》親子でエコ教室共催

(パフォーマンスショー&ポスター制作)

日時：7月23日(火)
10:15～12:40
13:30～15:55

講師(パフォーマンスショー)：らんま先生

担当(ポスター制作)：山崎 優
佐藤直子、高徳早矢香
宮野律子、大岩久美

会場：レクチャーホール
子どものアトリエ
参加人数：149人&58人、122人&28人

*横浜赤レンガ倉庫1号館にてポスター展開催 8月22日(木)～26日(月)

人材育成事業

◎横浜美術館研修(博物館実習)

活動期間：7月22日(月)～31日(水)
(木・日曜除く)
10:00～17:00

担当：内山淳子、大澤紗蓉子
金井真悠子、岡崎智美
坂本恭子

会場：美術館内
参加費：30,000円
参加人数：21人

参加学校：青山学院大学、桜美林大学、神奈川工科大学、共立女子大学、昭和音楽大学、女子美術大学、清泉女子大学、多摩美術大学、東海大学、東京造形大学、東京大学、日本女子大学、八洲学園大学、武蔵野美術大学

◎インターンシップ

子どものアトリエ インターン

活動期間：6月1日(土)～3月31日(月)
担当：山崎 優、高徳早矢香
佐藤直子、東 麻奈美

会場：子どものアトリエほか
参加人数：9人(大学生6人・大学院生2人・社会人1人)

子どものアトリエ ジュニア・インターン

活動期間：1期 5月12・19・26日、6月2・9・16・30日、7月7・14日(日)

2期 10月13・20・27日、11月10・17・24日、12月1・8・15日(日)

担当：山崎 優、高徳早矢香
佐藤直子、東 麻奈美
会場：子どものアトリエほか
参加人数：1期2人(中学2年生・高校3年生)、2期1人(高校2年生)

◎子どものアトリエ教師のためのワークショップ

日時：7月27日(土)・28日(日)、3月22日(土)・23日(日)
10:00～16:00

担当：山崎 優、三ツ山一志(横浜市民ギャラリーあざみ野館長/横浜市民ギャラリー館長)

会場：子どものアトリエ
参加費：各日5,000円(両日参加の場合は8,000円)
参加人数：61人、55人、57人、52人

◎子どものアトリエにおける大学生の職場研修

活動期間：7月20日(土)、
8月2-4日、8月9-11日、
8月23-25日(金-日)

担当：山崎 優、高徳早矢香
佐藤直子
会場：子どものアトリエ
参加人数：11人
参加学校：城西国際大学

◎子どものアトリエ保育士・教師を対象とした研修等

受入件数：8件
参加人数：340人
受入団体：神奈川県教育委員会、戸塚区図画工作研究会、港北区幼稚園協会、神奈川県ライトセンター未就学児クラス、磯子区保育士会、横浜市小学校図画工作教育研究会、横浜市特別支援教育研究会、公益財団法人海外日系人協会

◎その他研修等

受入件数：9件
参加人数：572人
受入団体：横浜市小学校図画工作教育研究会、横浜市立中学校教育研究会美術科部会、西区図画工作教育研修会、大和市渋谷小学校鑑賞会、横浜国立大学教育人間科学部美術科

環境啓発事業

平成25年度《横浜みどりアップ計画》横浜みどりアップ・ワークショップ

*市民のアトリエワークショップ
参照(p.38)

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(平成26年3月現在11,007件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ビデオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

平成25年度収集実績

	日本画	油彩画	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真・映像	小計
購入	1	1	0	0	0	0	3	5
寄贈	3	3	0	3	0	5	0	14
寄託	0	0	0	0	0	0	0	0
今年度計	4	4	0	3	0	5	3	19
前年度までの累計	516	891	3,395	1,714	106	193	4,173	10,988
計	520	895	3,395	1,717	106	198	4,176	11,007

主な収蔵品

作家	作品名
奈良美智	《春少女》
中島享斎	《迎後醍醐帝楠子図》
熊井恭子	《叢生'99》

* 購入は横浜市文化基金による

* 今年度の収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(平成26年度発行予定)を参照

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容		
西洋画	ジャン・フォートリエ	《無題》	83-OF-011	亀裂・剥落の修復および新規額装		
日本洋画	山崎秀夫	《戦うドン・キホーテ》	2006-OJ-002	新規額装		
日本画	下村観山	《東方朔》	2011-JP-004	裏打ち		
		《羅漢》	2011-JP-010	裏打ち		
		《十六羅漢 第一賓頭羅跋羅墮闍尊者》	2011-JP-014	裏打ち		
		《十六羅漢 第三迦諾(迦)跋釐墮闍》	2011-JP-017	裏打ち		
		《許由》	2011-JP-021	裏打ち		
		《長恨歌抜写三枚之内》	2011-JP-022	裏打ち		
		《唐子遊》	2011-JP-023	裏打ち		
		《鷹》	2011-JP-026	裏打ち		
		《鷹》	2011-JP-027	裏打ち		
		《辻説法 下図》	2011-JP-028	裏打ち		
		版画	小林七席	《形象(4)》	2011-PRJ-041	マット装
				《茜空に見た形-B》	2011-PRJ-043	マット装
			吉田千鶴子	《献花》	2011-PRJ-051	マット装
吉田穂高	《町外れの神話 昼》		2011-PRJ-083	マット装		
	《私のコレクションより 坂道の家 H.》		2011-PRJ-087	マット装		
パブロ・ピカソ	《帽子をかぶった婦人 No.1》		89-PRF-002-01	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.2》		89-PRF-002-02	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.3》		89-PRF-002-03	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.4(緑色で印刷)》		89-PRF-002-04	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.5》		89-PRF-002-05	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.6(赤で印刷)》		89-PRF-002-06	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.7》		89-PRF-002-07	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.8(黒で印刷)》		89-PRF-002-08	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.9》		89-PRF-002-09	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.10(枠を茶色で印刷)》		89-PRF-002-10	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.11》		89-PRF-002-11	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.12(第1ステートの色違い)》		89-PRF-002-12	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.13(第2ステートの色違い)》		89-PRF-002-13	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.14》		89-PRF-002-14	マット装		
	《帽子をかぶった婦人 No.15(第5ステートの色違い)》		89-PRF-002-15	マット装		
写真	浜口タカシ	《「鉄条網の内と外」より:アメリカ原潜スナックが横須賀基地へ》	91-PHJ-003	マット装		
		《「鉄条網の内と外」より:原潜が来た日》	91-PHJ-004	マット装		
	石内 都	《絶唱・横須賀ストーリー(野比海岸)》	2001-PHJ-001	額内ヒンジ再固定		
		《絶唱・横須賀ストーリー(不入斗町)》	2001-PHJ-004	額内ヒンジ再固定		
		《絶唱・横須賀ストーリー(本町)》	2001-PHJ-046	額内ヒンジ再固定		
		《絶唱・横須賀ストーリー(大滝町)》	2001-PHJ-047	額内ヒンジ再固定		

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数：29件(うち海外1件)

貸出総作品数：90点

貸出実績

展覧会名称・展覧会会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
「フランス・ベーコン展」 東京国立近代美術館 平成25年3月8日(金)-5月26日(日) 豊田市美術館 平成25年6月8日(土)-9月1日(日)	フランス・ベーコン	《座像》
「〈遊ぶ〉シュルレアリスム」展 徳島県立近代美術館 平成25年4月27日(土)-6月30日(日)	オスカル・ドミンゲス	《無題(デカルコマニー)》 《日曜日》
損保ジャパン東郷青児美術館 平成25年7月9日(火)-8月25日(日)	ジョセフ・コーネル	《無題》
「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」展 静岡市美術館 平成25年4月20日(土)-6月23日(日) 熊本県立美術館 平成25年7月2日(火)-8月25日(日)	ジャック=アンドレ・ボワファール	《無題》(93-PHF-031) 《無題》(93-PHF-022)
「水彩画みづゑの魅力ー明治から現代までー」展 平塚市美術館 平成25年4月20日(土)-6月16日(日)	藤田嗣治	《腕を上げた裸婦》
「ロマンの系譜 怪奇幻想玉手箱 ーゴヤからシュルレアリスムへ」展 富山県立近代美術館 平成25年4月27日(土)-6月30日(日)	アルフレッド・イースト	《日光五重塔》 《長崎》
「フランスの美しい風景 ロココからバルビゾン派、印象派へ」展 ヤマザキマザック美術館 平成25年4月27日(土)-7月15日(月祝)	チャールズ・ワーグマン	《御茶漬屋》 《舟遊び》
「街の記憶 写真と現代美術でたどるヨコスカ」展 横須賀美術館 平成25年4月27日(土)-6月30日(日)	アンドレ・マツソン	《ナルキッソス》
	ヴィクトル・ユゴー	《風景》
	ジャン=フランソワ・ミレー	《落穂拾い》
	カミーユ・ピサロ	《水辺牧牛(第8ステート)》 《薪を背負う農婦》 《エラニーの農婦(第3ステート)》
	アルフレッド・シスレー	《鷺鳥のいる河畔》
	石内 都	《絶唱・横須賀ストーリー(野比海岸)》 《絶唱・横須賀ストーリー(大津町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(久里浜)》(2001-PHJ-003) 《絶唱・横須賀ストーリー(不入斗町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(馬堀海岸)》 《絶唱・横須賀ストーリー(稲岡町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(走水)》 《絶唱・横須賀ストーリー(本町)》(2001-PHJ-016) 《絶唱・横須賀ストーリー(安浦町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(東逸見町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(久里浜)》(2001-PHJ-037) 《絶唱・横須賀ストーリー(衣笠栄町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(久里浜)》(2001-PHJ-039) 《絶唱・横須賀ストーリー(坂本町)》(2001-PHJ-041) 《絶唱・横須賀ストーリー(稲岡町)》 《絶唱・横須賀ストーリー(本町)》(2001-PHJ-046) 《絶唱・横須賀ストーリー(大滝町)》

貸出

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
		《絶唱・横須賀ストーリー(本町)》 (2001-PHJ-048)
		《絶唱・横須賀ストーリー(林)》
		《絶唱・横須賀ストーリー(坂本町)》 (2001-PHJ-052)
	浜口タカシ	《「鉄条網の内と外」より:アメリカ原潜スヌックが横須賀基地へ》 《「鉄条網の内と外」より:原潜が来た日》
北野カルチュラルセンター開館10周年記念展 「風の光景 ～北久美子が描く夢想園～」 北野美術館分館 北野カルチュラルセンター 平成25年5月3日(金祝)-5月26日(日)	北久美子	《夢想植物園...Y》
「アート・アーチ・ひろしま2013 イサム・ノグチーその創造の源流」展 ひろしま美術館 平成25年7月20日(土)-10月14日(月祝)	イサム・ノグチ ジャン・アルブ 土門 拳	《三位一体》 《マイアストラ、ブランクーシへのオマージュ》 《成長》 《イサム・ノグチ》
「松林桂月展—水墨を極め、画中に詠う」 山口県立美術館 平成25年8月8日(木)-9月16日(月祝) 田原市博物館 平成25年11月30日(土)-平成26年1月13日(月祝) 練馬区立美術館 平成26年4月13日(日)-6月8日(日)	松林桂月	《溪山清曉図》 《葡萄図》 《四季山水図》
「映画をめぐる美術 マルセル・ブローターズから始める」展 京都国立近代美術館 平成25年9月7日(土)-10月27日(日)	シンディ・シャーマン	《無題のフィルム スティールNo.23》
「一木一草に神をみる 自然と美術」展 島根県立石見美術館 平成25年9月14日(土)-11月4日(月祝)	長谷川潔	《コップに挿したアンコリの花(過去、現在、未来)》 《コップに挿した野花(百日草と昼顔)》 (2000-PRJ-017) 《木と葉と実》 《コップに挿したアンコリの花(過去、現在、未来)の画稿(a)》
「道一そして、希望の朝」展 八戸市美術館 平成25年9月28日(土)-11月4日(月祝)	松井冬子	《この疾患を治癒させる為に破壊する》
「特別展 小林古径生誕130年記念 古径と土牛」 山種美術館 平成25年10月22日(火)-12月23日(月祝)	小林古径	《大毘古命》 《初夏》
「東山魁夷 芸術創生の歩み—『新潮』表紙絵の世界—」展 市川市東山魁夷記念館 平成25年11月2日(土)-12月1日(日)	東山魁夷	《樹》
「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」 国立国際美術館 平成25年11月2日(土)-平成26年1月19日(日) 東京国立近代美術館 平成26年2月4日(火)-3月30日(日) 青森県立美術館 平成26年4月12日(土)-6月8日(日)	工藤哲巳	《あなたの肖像》
財団設立60周年記念特別展「今村紫紅展—横浜のいろ」 三溪園三溪記念館 平成25年11月2日(土)-12月8日(日)	今村紫紅	《平親王》 《伊達政宗》 《都乃春》 《清涼》 《新緑》 《枇杷に鶯》 《松籟》 《東海道左富士》 《近江八景(小下絵)》(「唐崎」「粟津」「三井」「比良」の4面のみ) 《熱国之巻(小下絵)》

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号
「洲之内徹と現代画廊―昭和を生きた目と精神―」展 宮城県美術館 平成25年11月2日(土)-12月23日(月祝) 愛媛県美術館／町立久万美術館 平成26年1月25日(土)-3月16日(日) 新潟市美術館 平成26年4月12日(土)-6月8日(日)	野田英夫	《追憶》
特別展「泉鏡花生誕140年記念 清方が描いた鏡花の世界」 鎌倉市鏡木清方記念館 平成25年10月31日(木)-12月4日(水) 生誕150年・没後100年記念「空前絶後の岡倉天心展」 一大観、春草、近代日本画の名品を一堂に― 福井県立美術館 平成25年11月1日(金)-12月1日(日)	鏡木清方 吉田 博	《遊女》 《冬木立》
「ハイレッドセンター：〈直接行動〉の軌跡展」 名古屋市美術館 平成25年11月9日(土)-12月23日(月祝) 渋谷区立松濤美術館 平成26年2月11日(火祝)-3月23日(日)	中西夏之	《コンパクトオブジェ(卵)》
「アートが絵本と出会うとき―美術のバイオニアたちの試み」展 うらわ美術館 平成25年11月16日(土)-平成26年1月19日(日)	クルト・シュヴィッターズ アレクサンドル・ロトチェンコ	《メルツ絵画1C ダス・ドゥーベルビルト(ダブル絵画)》 《非具象彫刻》 《詩人ウラジーミル・マヤコフスキー》 《ザモスヴェリ(自動おもちゃ)》 《ギア》 《階段》
「愛・知のリアリズム―宮脇 晴の周辺」展 豊田市美術館 平成26年1月7日(火)-4月6日(日)	木村荘八	《土と草(冬)》
「魂の深淵をひらく―遠藤彰子」展 上野の森美術館 平成26年1月15日(水)-1月28日(火)	遠藤彰子	《Street(街)》
「CÉZANNE site/non-site」 ティッセン・ボルネミッサ美術館(スペイン・マドリード) 平成26年2月4日(火)-5月18日(日)	セザンヌ	《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》
「岸田吟香・劉生・麗子―知られざる精神の系譜」展 世田谷美術館 平成26年2月8日(土)-4月6日(日)	岸田劉生	《椿君之肖像》
日本美術院再興100年 特別展「世紀の日本画」 東京都美術館 平成26年1月25日(土)-4月1日(火)	中島清之	《緑扇》
「没後百年 日本写真の開拓者 下岡蓮杖」展 東京都写真美術館 平成26年3月4日(火)-5月6日(火祝)	下岡蓮杖	《傘を持つ女》 《三人の少年》 《水辺の家》 《琴を弾く女》 《キリスト昇天の図(仮題)》 写真室内書割
「中村一美展」 国立新美術館 平成26年3月19日(水)-5月19日(月)	中村一美	《連差 - 破房 VII》

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのための取組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのために「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

新聞	285
美術雑誌	117
一般雑誌	327
ウェブ	180
TVラジオ	96
その他	10
合計	1,015

展覧会広報

◎ジャングル展

記者会見

日時：4月13日(土) 14:00~14:30

登壇者：逢坂恵理子

木村絵理子

カイルティン・ホリ(本展共同企画者

／シンガポール美術館シニア・キュ

レーター)

会場：アートギャラリー2

参加人数：39人

◎プーシキン美術館展

記者会見

日時：7月5日(金) 14:00~14:30

登壇者：逢坂恵理子

松永真太郎

イリーナ・バカノワ(プーシキン美術

館副館長)

会場：レクチャーホール

参加人数：60人

報道内覧会

日時：7月5日(金) 13:00~14:30

会場：展示室

参加人数：154人

◎横山大観展

記者会見

日時：10月4日(金) 14:00~14:30

登壇者：逢坂恵理子

八柳サエ

会場：レクチャーホール

参加人数：43人

報道内覧会

日時：10月4日(金) 13:00~14:30

会場：展示室

参加人数：110人

◎下村観山展

記者会見

日時：12月6日(金) 14:00~14:30

登壇者：逢坂恵理子

内山淳子

会場：アートギャラリー2

参加人数：25人

報道内覧会

日時：12月6日(金) 13:00~14:30

会場：展示室

参加人数：80人



記者会見 ジャングル展



記者会見 プーシキン美術館展



メディア懇談会



近隣アートプログラム ジャングル展



近隣アートプログラム 横山大観展



近隣アートプログラム 下村観山展

全館広報

ホームページ

アクセス数：1,121,279
(平成26年3月31日現在)

メディアでの番組提供

FMヨコハマ「THE BREEZE」内「もっと楽しむ! 横浜美術館」コーナー提供 美術館の中での仕事や取り組みを現場スタッフを通じて紹介する番組。

9月～3月 毎週金曜
10:10～10:20 計30回

Twitter

フォロワー数：18,418
(平成26年3月31日現在)

メールマガジン

登録者数：5,508人
(平成26年3月31日現在)
発行数：定期便26回、臨時便12回
トピック：開港記念日、プーシキン美術館展等に合わせ、登録キャンペーンを実施

◎メディア懇談会

横浜市内媒体向け

日時：10月18日(金)
14:00～16:00
概要：柏木智雄によるレクチャー、懇談会
会場：8階レセプションルーム
参加社数：6社
参加人数：10人

文化記者向け

日時：3月11日(火)
13:00～15:00
概要：天野太郎によるレクチャー、懇談会
会場：8階レセプションルーム
参加社数：18社
参加人数：20人

◎近隣アートプログラム

近隣企業、団体向け特別鑑賞会を通じた館の広報

ジャングル展

日時：5月15日(水)
19:00～21:15
概要：事前レクチャー、東南アジアの民族衣装を着用、宮津大輔(コレクター)による東南アジアアートに関するレクチャー
参加費：1,500円
参加団体数：MMcc(Minato Mirai community club) 15団体
参加人数：114人

プーシキン美術館展

日時：8月23日(金)
18:00～20:00
概要：事前レクチャー、自由観覧
参加費：1,000円
参加団体数：MMcc14団体
参加人数：218人

横山大観展

●日時：11月15日(金)
19:00～21:00
概要：事前レクチャー、日本画体

験コーナー

参加費：1,500円
参加団体数：MMcc10団体
参加人数：114人

●日時：11月16日(土)
13:00～17:00
参加団体：道草塾
参加人数：11人

下村観山展

●日時：12月11日(水)
15:00～16:00
参加団体：マークイズみなとみらい店舗スタッフ
参加人数：200人

●日時：1月15日(水)
19:00～21:00
概要：事前レクチャー、お抹茶作法体験コーナー、百瀬文展ワークショップ
参加費：1,500円
参加団体数：MMcc10団体
参加人数：65人

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率=回収数÷総入場者数

ジャングル展

総数：596通(回収率*3.5%)

来館回数	11回以上	20%
	6～10回	22%
	2～5回	37%
	今回が初めて	18%
	不明	3%
居住地	市内	51%
	市外	49%
性別	女性	62%
	男性	35%
	不明	3%
年齢	10代	9%
	20代	15%
	30代	18%
	40代	25%
	50代	16%
	60代以上	14%
	年齢不明	3%

プーシキン美術館展

総数：1,450通(回収率*0.4%)

来館回数	11回以上	13%
	6～10回	17%
	2～5回	36%
	今回が初めて	31%
	不明	4%
居住地	市内	34%
	市外	66%
性別	女性	64%
	男性	28%
	不明	8%
年齢	10代	9%
	20代	8%
	30代	10%
	40代	19%
	50代	19%
	60代以上	30%
	年齢不明	5%

横山大観展

総数：1,070通(回収率*0.1%)

来館回数	11回以上	14%
	6～10回	21%
	2～5回	44%
	今回が初めて	17%
	不明	4%
居住地	市内	34%
	市外	66%
性別	女性	36%
	男性	60%
	不明	5%
年齢	10代	1%
	20代	7%
	30代	8%
	40代	17%
	50代	23%
	60代以上	40%
	年齢不明	4%

下村観山展

総数：1,343通(回収率*3%)

来館回数	11回以上	22%
	6～10回	24%
	2～5回	37%
	今回が初めて	14%
	不明	3%
居住地	市内	39%
	市外	61%
性別	女性	62%
	男性	34%
	不明	4%
年齢	10代	3%
	20代	6%
	30代	10%
	40代	20%
	50代	23%
	60代以上	35%
	年齢不明	3%

展覧会デブリーフィング実施日

第1回 6月25日(火) 第2回 9月24日(火) 第3回 12月3日(火) 第4回 2月21日(金)

外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎みなとみらい21地区に貢献できるイベント

コンクール・テレガンス2013

日時：7月19日(金)～21日(日)

概要：クラシックカーの展示、審査

会場：正面広場

主催：コンクール・テレガンス2013実行委員会

参加人数：赤レンガ倉庫会場と合わせ20万人

横浜信用金庫創立90周年記念クリスマス・コンサート

日時：12月23日(月祝)

13:30～14:00, 14:30～15:00

会場：グランドギャラリー

参加人数：350人, 290人

◎横浜市と連携したレセプション会場の提供

Bio Japan2013パートナーリング・パーティ

日時：10月10日(木)

概要：パシフィック横浜で行われたコンベンションの出展者・来場者の交流イベント

会場：グランドギャラリー

参加人数：440人

◎横浜市が推進するイベント等との連携

子どもアドベンチャー2013

横浜美術館「夏休み・子ども探検ツアー！」

日時：8月20日(火)・21日(水)

参加人数：30人, 25人

クラシック・ヨコハマ2013 ミュージアムコンサート

●音遊びワークショップ

日時：11月17日(日)

11:00～12:00, 13:30～14:30

会場：8階レセプションルーム

参加人数：各回15組(子どもとその保護者)

●「岡倉天心とオペラ」

日時：12月21日(土) 15:00～15:30

概要：横浜ゆかりの思想家・岡倉天心にちなんだクラシックコンサート。企画制作に横浜みなとみらいホールが協力

会場：グランドギャラリー

参加費：無料

参加人数：133人

フォト・ヨコハマ2014 パートナーイベント

●コレクション展 第3期 特集展示

*コレクション展 第3期参照(p.22-23)

●百瀬文展

*百瀬文展参照(p.24-25)

専門館連携

◎横浜美術館×KAAT神奈川芸術劇場タイアップ講演

イサム・ノグチをめぐる3つの物語「iSAMU」と彫刻家ノグチの仕事

日時：8月9日(金) 14:00～15:30

講師：中村尚明

会場：レクチャーホール

参加費：無料

参加人数：132人

◎横浜音祭り2013 横浜美術館“音祭り”コンサート2013

星空シネマ×オルガン

(横浜みなとみらいホール「シネマ×パイプオルガン」前夜祭)

日時：10月11日(金) 19:00～20:00

概要：野外での映像投影(無声映画、横山大観展作品)によるオルガン即興演奏。企画運営に横浜みなとみらいホールと連携実施。

会場：正面広場

出演：ピーター・クラシンスキー(電子オルガン) 山口綾規(ナビゲーター)

参加費：無料

参加人数：246人

藤原道山 plays 大観

日時：10月22日(火) 19:00～21:00

概要：学芸員のガイドによる展示鑑賞・大観作品に寄せた尺八アンサンブルの演奏

会場：企画展展示室、グランドギャラリー

参加費：3,000円

参加人数：84人

大観を奏でる～塩谷哲スペシャルコンサート～

日時：11月3日(日祝)

11:30～12:00, 15:30～16:00

概要：塩谷哲(ピアノ)の音楽による「横山大観展」とのコラボレーション演奏。

会場：グランドギャラリー

出演：塩谷哲(ピアノ), 平野公崇(サクソフォン)

参加費：無料

参加人数：2回合計で1,000人

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。

企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

・参加企業：横浜信用金庫



コンクール・テレガンス 2013



子どもアドベンチャー2013



岡倉天心とオペラ



Heart to Art 貯金箱作り



星空シネマ×オルガン



大観を奏でる

来館者へのおもてなし

ビジターサービス

エントランスにおける来館者の導線の整理とサービス向上を目指し、グランドギャラリー中央に総合インフォメーション機能をもつ円形カウンターを設置。チケットブースやチラシラックの配置を見直し再設営を行いました。(12月6日)

また、随時行っている団体向けの鑑賞前レクチャーに加え、新規に計画している個人向け鑑賞ガイドの実施に向けた事例調査を行い、下村観山展にて、試行しました。

*下村観山展「展覧会・ココがみどころ」参照(p.31)



総合インフォメーション機能をもつ円形カウンター

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館が所蔵する絵画・版画などの絵ハガキや独自のデザインをもとに作られたオリジナル・グッズをはじめ、名画の額絵・画材・書籍など、2000種におよぶ商品を販売しています。

営業時間：11:00～18:00

オリジナルグッズ：下村観山展で一筆箋を2種制作。酒類の販売業免許を取得し、当館コレクションをラベルにしたワインの販売を開始。

店舗での特設コーナー：企画展毎に4回

オンラインショップ：200点以上の商品を掲載。特設サイトとして、「芸術の秋」(9-10月)、「クリスマス」(12月)、「バレンタイン」(2月)を開設。



ミュージアムショップ ジャングル展



ミュージアムショップ 横山大観展

◎Café 小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。

営業時間：10:45～18:00 ラストオーダー17:30

ジャングル展

東南アジアをイメージして観葉植物を配した「グリーンカフェ」を展開

限定メニュー：ジャングルチャーハン オニオンスープ付

サンライズブルー

カヤトーストセット

東南アジア各国のビール 3種



カフェ ジャングル展グリーンカフェ

プーキン美術館展

公式グッズの原画(tupera tupera、福田利之)展示

限定メニュー：ジャンヌ・サマリーのベリーパフェ

ロシアンコーヒー

アイスロシアンティー



カフェ プーキン美術館展 tupera tupera 作品展示

横山大観展

和風の休憩所を設置

限定メニュー：赤富士のクレープ仕立て

下村観山展

ミニ盆栽を配した「BONSAI Café」を展開

限定メニュー：小倉山ワッフルボウル

藤の花ラテ



カフェ 横山大観展和風の休憩所

期間限定メニュー

春：桜ドリンク

桜パフェ

秋：かぼちゃとチーズのデニッシュプレート

カスタードプリンラテ

資料

入館者数・収支

入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成10年度	278,954人	平成19年度	413,410人
平成2年度	990,818人	平成11年度	792,905人	平成20年度	770,310人
平成3年度	555,276人	平成12年度	1,082,553人	平成21年度	540,047人
平成4年度	541,465人	平成13年度	862,895人	平成22年度	1,408,713人
平成5年度	1,327,380人	平成14年度	372,395人	平成23年度	459,716人
平成6年度	528,995人	平成15年度	780,928人	平成24年度	662,159人
平成7年度	989,037人	平成16年度	331,873人	平成25年度	1,058,689人
平成8年度	344,239人	平成17年度	1,527,694人		
平成9年度	942,509人	平成18年度	341,657人		

平成25年度月別事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	3,886	7,079	5,945	92,313	151,572	93,355	33,722	57,359	9,989	18,589	11,172	0	484,981
コレクション展	4,512	8,266	6,588	91,088	154,465	93,607	34,180	57,242	10,594	19,251	12,046	0	491,839
若手作家支援展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	927	927
美術情報センター	1,111	1,130	874	2,216	3,417	1,944	1,175	1,221	909	993	993	1,146	17,129
鑑賞サポート	98	216	121	293	2,031	52	349	205	367	467	65	463	4,727
子どものアトリエ	2,264	2,541	3,208	1,790	3,063	2,620	2,164	2,673	1,723	1,855	1,138	1,237	26,276
市民のアトリエ	29	460	779	572	249	411	574	690	325	384	573	601	5,647
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	346	382	285	944	288	143	119	126	513	261	159	388	3,954
広報の活動、外部と連携した事業	32	689	322	50	409	0	883	1,223	1,028	154	166	20	4,976
その他	1,880	2,022	795	987	1,174	1,272	1,377	1,751	1,951	1,234	1,852	1,938	18,233
合計	14,158	22,785	18,917	190,253	316,668	193,404	74,543	122,490	27,399	43,188	28,164	6,720	1,058,689

収支

収入

指定管理料収入	700,000,000
利用料金収入	94,753,595
事業収入	374,136,550
助成金等	14,144,526
その他収入	90,524,034
合計	1,273,558,705

支出

人件費	322,232,128
事務費	51,313,741
負担金	647,000
管理費	236,821,943
事業費	523,388,075
その他支出	80,235,539
合計	1,214,638,426

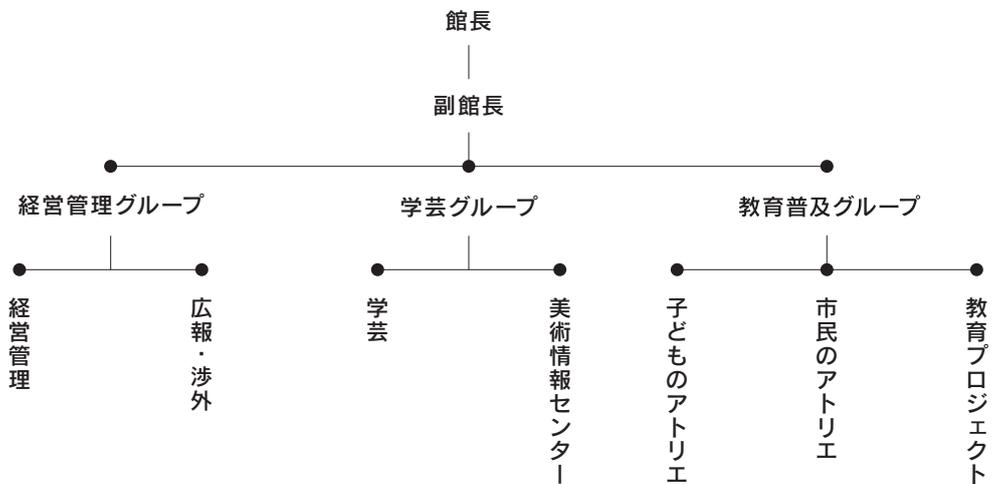
役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員・評議員名簿

理事長	澄川喜一	彫刻家／元東京藝術大学 学長(代表理事)
専務理事	島田京子	元日本女子大学事務局長(代表理事)
理事	星崎雅代	事務局長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画グループ長(業務執行理事)
	西村雅典	業務管理グループ長(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	中村雅之	横浜能楽堂 館長(業務執行理事)
	恵良隆二	三菱一号館美術館展覧会プロデューサー
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	前国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	ベイ・タックス税理士法人 代表社員 税理士
	柴田悟一	横浜商科大学 学長／横浜市立大学 名誉教授
評議員	市村作知雄	NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 会長／東京藝術大学 准教授
	上野 孝	横浜商工会議所 相談役／上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
	斉藤準一	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長
	新堀豊彦	横浜能楽連盟 名誉会長
	塚原良一	横浜商工会議所 専務理事
	原 範行	株式会社ホテル、ニューグランド 代表取締役会長 原地所株式会社 代表取締役社長
	山崎行雄	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
	若宮敏彦	NHK横浜放送局長
	中山こずゑ	横浜市文化観光局長

(平成26年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長		逢坂恵理子		
副館長		小川 良		
経営管理グループ	グループ長	操 和憲		
		杉浦正美		
	経営管理	担当グループ長	大日向和信	
		施設担当リーダー	渡邊文人	
		担当リーダー	相原佳奈子	
			足立陽子	
			阿部 薫	
			上原玲子	
			奥津絵里	
			普川由貴子	
			森 双葉	
	広報・渉外	チームリーダー	宮野律子	
		ビジターサービス担当リーダー	襟川文恵	
		担当リーダー	藤井聡子	
			大岩久美	
		窪田知恵		
		工藤千愛子		
学芸グループ	グループ長・主席学芸員	柏木智雄		
		天野太郎		
	学芸	担当グループ長・主席学芸員	沼田英子	
		担当グループ長・主席学芸員	中村尚明	
		主任学芸員(チームリーダー)	八柳サエ	
		主任学芸員(チームリーダー)	内山淳子	
		主任学芸員(チームリーダー)	木村絵理子	
		主任学芸員(担当リーダー)	庄司尚子	
		展覧会コーディネーター(担当リーダー)	松永真太郎	
		主任学芸員(担当リーダー)	大澤紗香子	
		学芸員	太田雅子	
		学芸員	片多祐子	
		学芸員	金井真悠子	
			大沢知二	
			小島明美	
			特任研究員	猿渡紀代子
		美術情報センター	司書	興津美由紀
司書	吉田龍一			
	関 淳一			
教育普及グループ	グループ長	山崎 優		
		佐藤直子		
	子どものアトリエ	担当グループ長・主席ワークショップコーディネーター	高徳早矢香	
		ワークショップコーディネーター	東 麻奈美	
		ワークショップコーディネーター	木下貴博	
		ワークショップコーディネーター	柳川文秀	
	市民のアトリエ	主任ワークショップコーディネーター(チームリーダー)	櫻庭瑠実	
		主任ワークショップコーディネーター(担当リーダー)	端山聡子	
		ワークショップコーディネーター	岡崎智美	
	教育プロジェクト	学芸員(教育普及担当・チームリーダー)	坂本恭子	
主任ワークショップコーディネーター(担当リーダー)				
学芸員(教育普及担当)				

48名(平成26年3月31日現在)

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認められたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めるとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めるとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ビデオ学習システムブース		100円
名画鑑賞システムブース	1回につき	100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	20,000円
レクチャーホール	1日につき	日曜日、土曜日及び休日	24,000円
		1式、1台又は 1枚、1日につき	150,000円

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。))若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。
（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

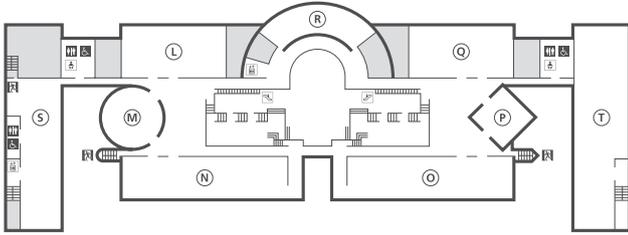
この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

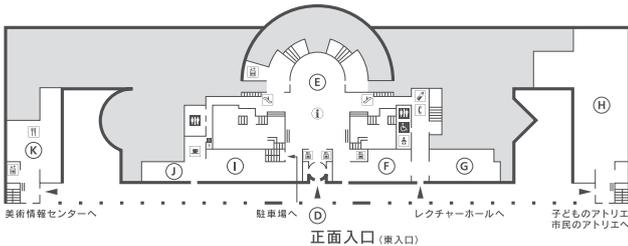
※ 様式省略

3F



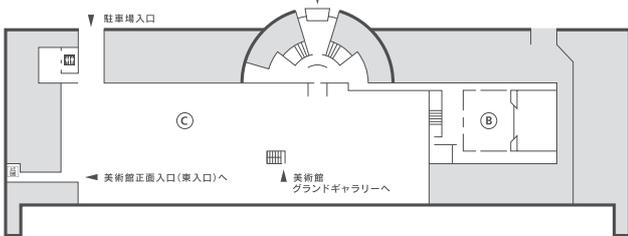
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

2F



- ⑤ 正面入口(東入口)
- ⑥ グランドギャラリー
- ⑦ アートギャラリー2
- ⑧ アートギャラリー1
- ⑨ 子どものアトリエ
- ⑩ ミュージアムショップ
- ⑪ カフェ
- ⑫ レストラン

1F



- ⑬ 西入口
- ⑭ レクチャーホール
- ⑮ 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500(400)円
大学・高校生	300(240)円
中学生	100(80)円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

()内は有料20名様以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出口」も利用できます)。

平成25年度 横浜美術館年報

平成26年6月30日発行

横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317

www.yaf.or.jp/yma/

© Yokohama Museum of Art 2014

